

# 障がい福祉に関するアンケート調査

## 報 告 書

み よ し 市

令和5年3月



## 目 次

I 調査の概要 .....	1
1 調査の目的 .....	1
2 調査設計 .....	1
3 回収結果 .....	1
4 報告書の見方.....	1
1 ご本人の現状について .....	3
1-1 調査の回答者 .....	3
1-2 対象者の性別 .....	3
1-3 対象者の年齢 .....	4
1-4 居住地区 .....	4
1-5 居住地 .....	5
1-6 主な介助者の状況.....	5
1-7 将来住みたい、暮らしたいと思う生活の場 .....	6
1-8 暮らし方を実現するために必要な条件や支援 .....	7
1-9 障がい者手帳の所持 .....	8
1-10 身体障がいの種類 .....	9
1-11 診断されている症状 .....	9
1-12 健康管理や医療について困っていること .....	10
2 手助け（サポート）について.....	11
2-1 日常生活の行動.....	11
2-2 手助け（サポート）してくれる主な支援者 .....	11
2-3 支援者の年齢 .....	12
2-4 家族からの手助け（サポート）で困っていること.....	13
2-5 外部からの手助け（サポート）で困っていること.....	14
3 就労（働くこと）、就学（学校などのこと）について .....	15
3-1 日中のおもな過ごし方 .....	15
3-2 通園・通学で困っていること .....	15
3-3 卒業（園）後の進路.....	16
3-4 学校教育に望むこと .....	17
3-5 就労形態 .....	18
3-6 仕事で困っていること .....	19
3-7 障がいのある人が働くために大切なこと .....	20
4 外出について.....	21
4-1 外出頻度 .....	21
4-2 外出する際の交通手段 .....	22
4-3 外出の目的 .....	23
4-4 外出時に困ること.....	24

4-5	外出しない、外出しづらい理由.....	25
5	地域活動や文化、スポーツ活動について .....	26
5-1	1年間に参加した活動 .....	26
5-2	今後、参加したい活動 .....	27
5-3	障がいのある人が活動に参加するために必要な支援.....	28
6	情報・相談・連絡について .....	29
6-1	生活や福祉サービスの情報源 .....	29
6-2	インターネット上（SNS含む）からの情報取得 .....	30
6-3	障がいや生活のことで困っていること .....	31
6-4	心配なことがあった時の相談相手.....	32
7	災害・避難などについて .....	33
7-1	災害時に備えた準備.....	33
7-2	災害などの緊急時にひとりで避難すること .....	34
7-3	避難所生活で困ること .....	34
7-4	災害時や緊急時に障がいのある人に必要な支援.....	35
8	権利擁護について.....	36
8-1	成年後見制度の認知度 .....	36
8-2	成年後見制度の活用.....	36
8-3	障がいのある人に対する社会の理解.....	37
8-4	合理的配慮の認知度.....	37
8-5	障がいのある人に対する差別や偏見の改善 .....	38
9	障がい福祉の向上について .....	39
9-1	みよし市障がい福祉施策の満足度.....	39
9-2	みよし市福祉施策で充実していると思う施策 .....	40
9-3	みよし市障がい者福祉施策で充実してほしい施策.....	41
9-4	みよし市障がい者福祉施策についてのご意見 .....	42



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、令和6年度を初年度とするみよし市障がい者計画・みよし市障がい福祉計画・みよし市障がい児福祉計画の策定するにあたって、障害者手帳所持者及び難病を患っている方などを対象に福祉に関する意識、意向など把握することを目的に実施しました。

## 2 調査設計

調査地域：みよし市全域

調査対象：身体障がい者手帳、療育手帳又は精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方及び難病を患っている方

標本サイズ：1,200人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送配布、郵送回収及びWEB回収

調査時期：令和5年1月13日～2月3日

## 3 回収結果

配布数	回収数		有効	無効
	郵送回収	WEB回収		
1,200	533	110	643	0
100.0%	44.4%	9.2%	53.6%	0.0%

## 4 報告書の見方

- (1)比率はあてはまるものすべてに〇パーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100%にならないこともあります。
- (2)回答率(%)は、その質問の回答者数を母数として算出しました。
- (3)基数となるべき実数は、件数またはnとして掲載しました。比率は、この件数を100%として算出しています。

- (4)複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選び○印をつけた人が全体からみて何%なのかという見方をしました。そのため、各項目の比率の合計は100%を超える場合もあります。
- (5)本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。
- (6)身体障害者手帳所持者は「身体障がい」、療育手帳所持者は「知的障がい」、精神障害者保健福祉手帳所持者は「精神障がい」としています。また、障害者手帳を2つ以上所持している場合は、「重複障がい」としています。
- (7)基数（件数・n）が30以下のものについては、少数意見でも比率が拡大され有意差が生じやすいため、分析結果では基本的にふれないものとししました。





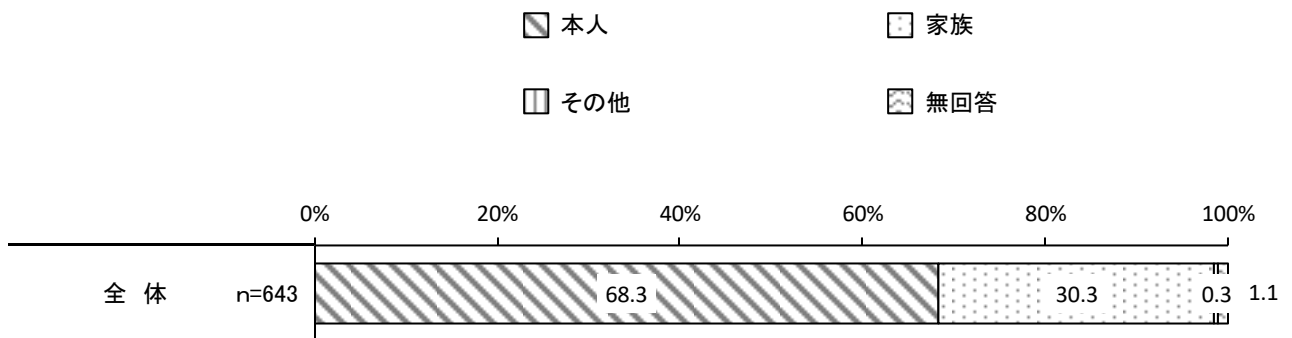
## Ⅱ 調査の結果

### 1 ご本人の現状について

#### 1-1 調査の回答者

問1 このアンケートを主に記入される方はどなたですか。（1つだけに○）

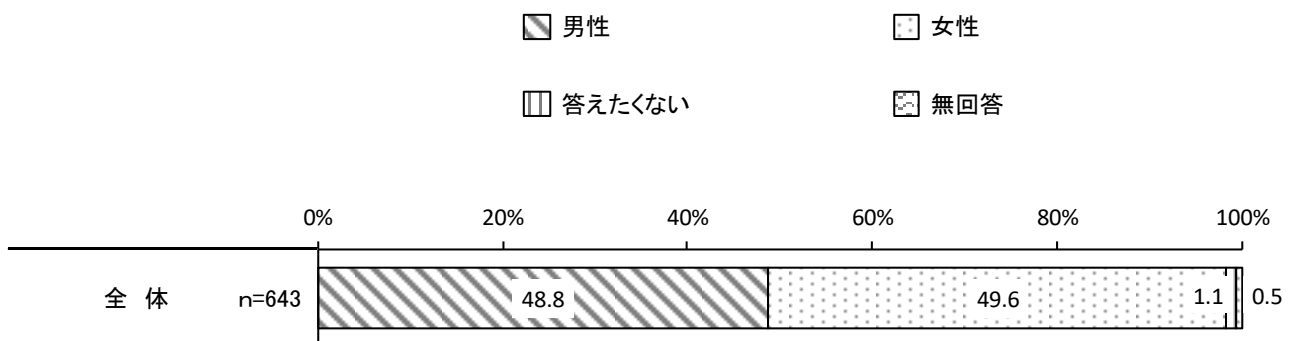
調査の回答者は、「本人」が68.3%、「家族」が30.3%となっています。



#### 1-2 対象者の性別

問2 あなた（封筒の宛名のご本人：以下同じ）の性別を教えてください。  
（1つだけに○）

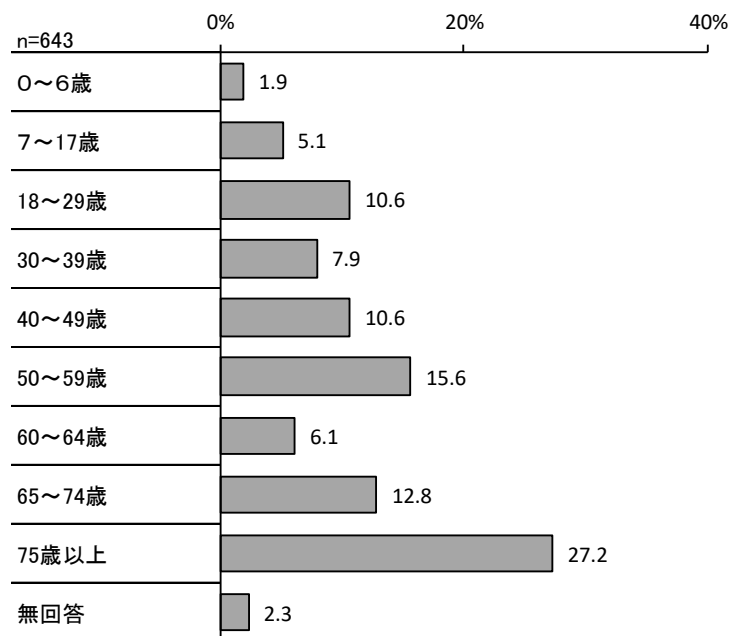
対象者の性別は、「男性」が48.8%、「女性」が49.6%となっています。



### 1-3 対象者の年齢

問3 あなたの年齢は何歳ですか。（令和5年1月1日現在）

対象者の年齢は、「75歳以上」が27.2%で最も高く、次いで「50～59歳」が15.6%、「65～74歳」が12.8%となっています。

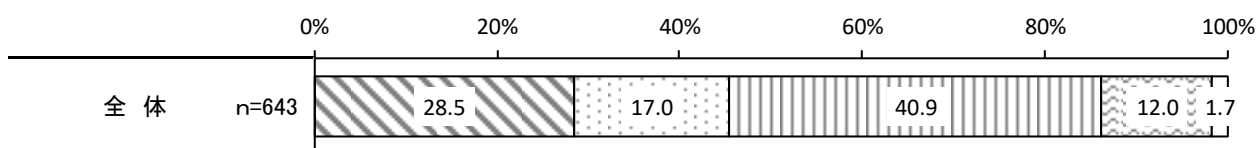


### 1-4 居住地区

問4 あなたが暮らしている地区はどこですか。（1つだけに○）

居住地区は、「なかよし（新屋、三好上、三好下、西一色、福田、東山、好住、中島、平池、上ヶ池）」が40.9%で最も高く、次いで「おかよし（黒笹、ひばりヶ丘、三好丘、三好丘緑、三好丘旭、三好丘桜、三好丘あおば）」が28.5%、「きたよし（筋生、福谷、高嶺、あみだ堂）」が17.0%、「みなよし（明知上、明知下、打越、山伏）」が12.0%となっています。

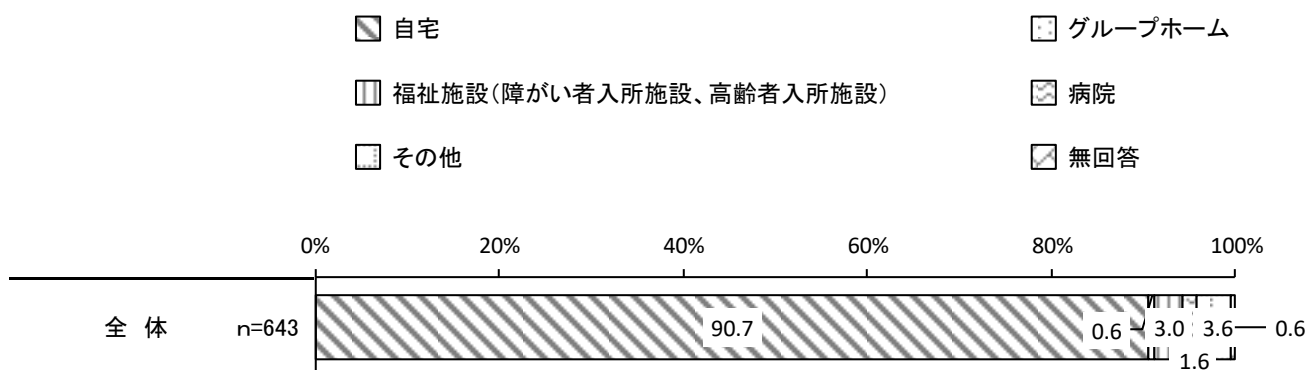
- おかよし(黒笹、ひばりヶ丘、三好丘、三好丘緑、三好丘旭、三好丘桜、三好丘あおば)
- きたよし(筋生、福谷、高嶺、あみだ堂)
- なかよし(新屋、三好上、三好下、西一色、福田、東山、好住、中島、平池、上ヶ池)
- みなよし(明知上、明知下、打越、山伏)
- 無回答



## 1-5 居住地

問5 あなたが現在、暮らしているところはどこですか。(1つだけに○)

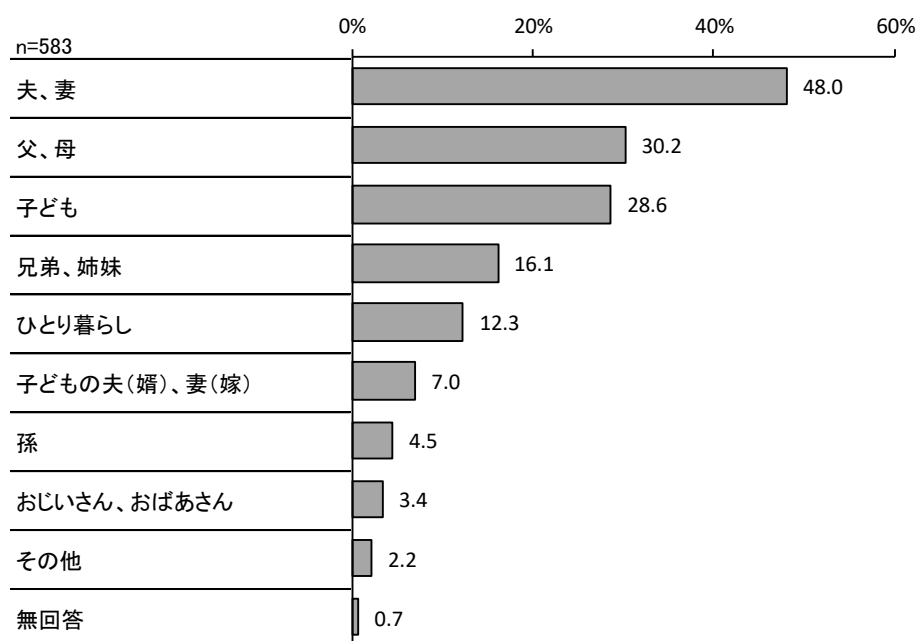
居住地は、「自宅」が90.7%で最も高くなっています。



## 1-6 主な介助者の状況

問5で「1. 自宅」を選ばれた方にお聞きします。  
 問6 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

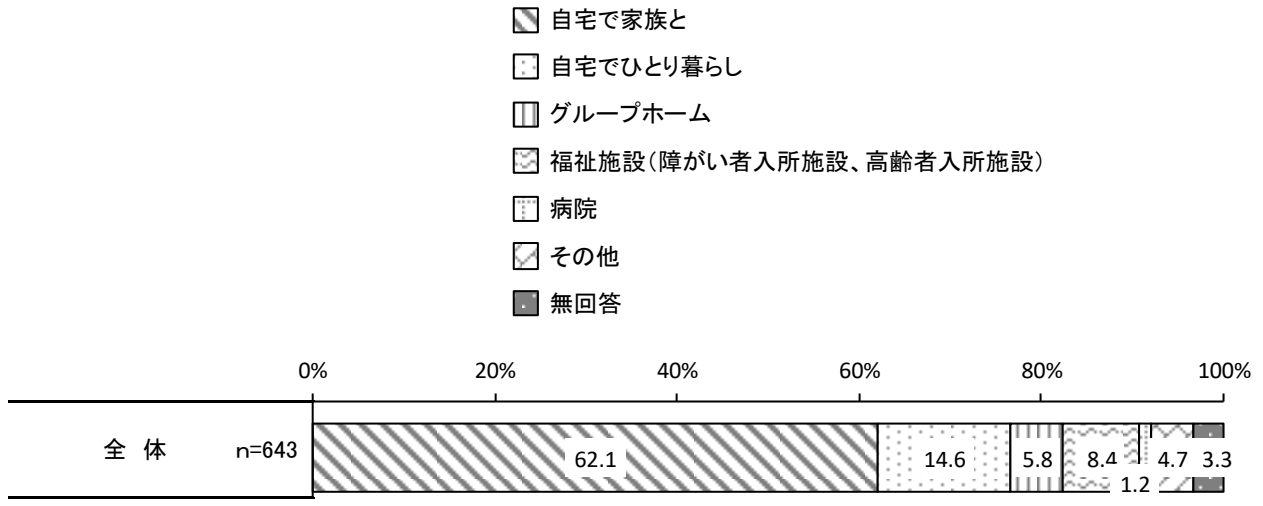
主な介助者の状況は、「夫、妻」が48.0%で最も高く、次いで「父、母」が30.2%、「子ども」が28.6%となっています。



1-7 将来住みたい、暮らしたいと思う生活の場

問7 将来住みたい、暮らしたいと思う生活の場はどこですか。(1つだけに○)

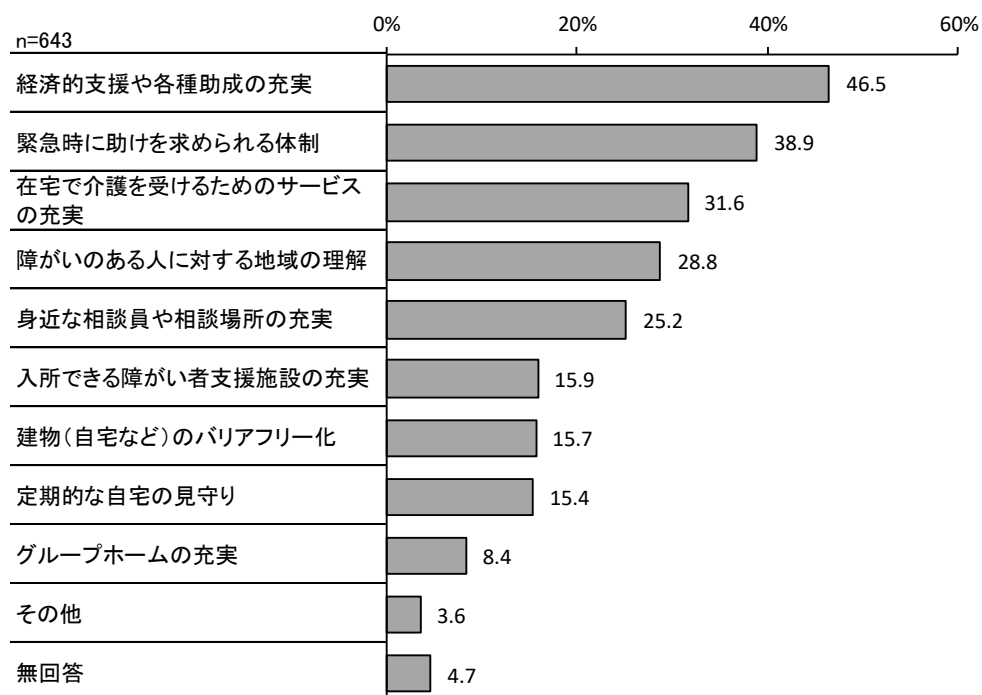
将来住みたい、暮らしたいと思う生活の場は、「自宅で家族と」が62.1%で最も高く、次いで「自宅でひとり暮らし」が14.6%となっています。



## 1-8 暮らし方を実現するために必要な条件や支援

問8 問7の暮らし方を実現するためには、どういった条件・支援が必要ですか。  
(〇は3つまで)

暮らし方を実現するために必要な条件や支援は、「経済的支援や各種助成の充実」が46.5%で最も高く、次いで「緊急時に助けを求められる体制」が38.9%、「在宅で介護を受けるためのサービスの充実」が31.6%となっています。

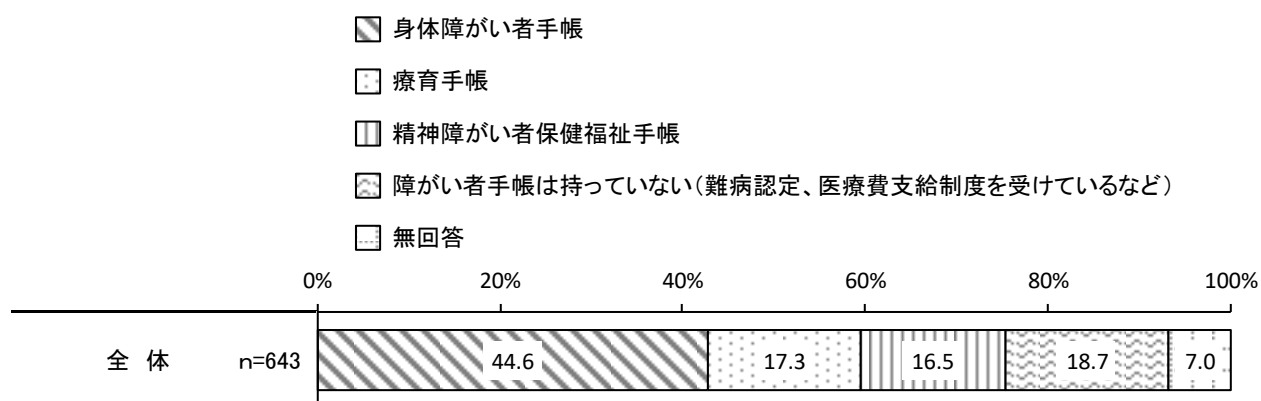


## 1-9 障がい者手帳の所持

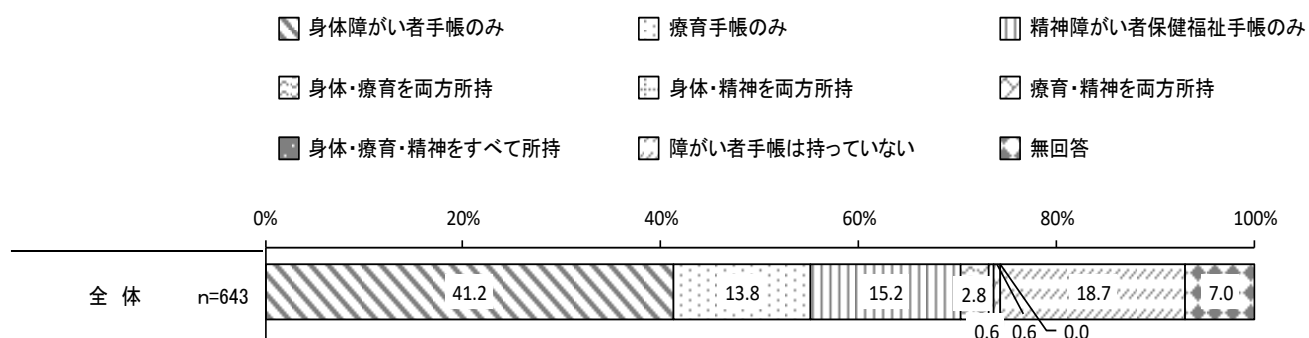
問9 あなたがお持ちの障がい者手帳は、次のどれですか。  
(あてはまるものすべてに○)

障がい者手帳の所持は、「身体障がい者手帳」が44.6%、「療育手帳」が17.3%、「精神障がい者保健福祉手帳」が16.5%となっています。一方、「障がい者手帳は持っていない(難病認定、医療費支給制度を受けているなど)」は18.7%となっています。

障がい者手帳所持状況は、「身体障がい者手帳のみ」が41.2%で最も高く、次いで「精神障がい者保健福祉手帳のみ」が15.2%、「療育手帳のみ」が13.8%となっています。



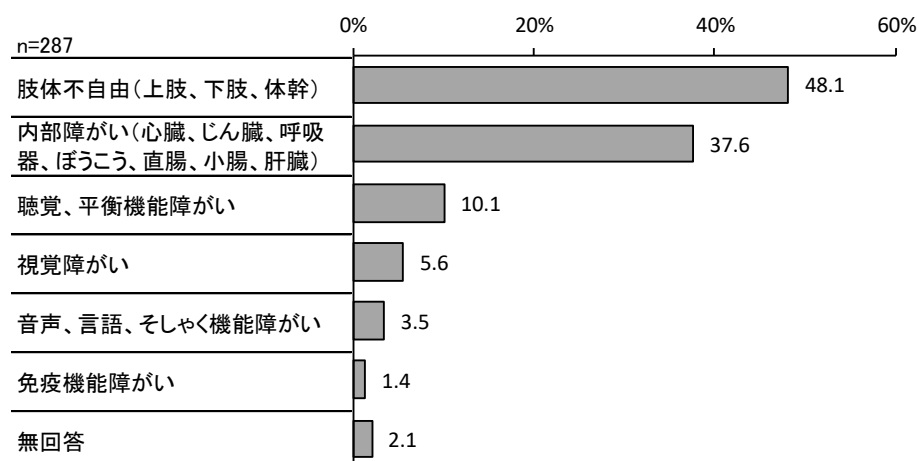
### 【障がい者手帳所持状況】



## 1-10 身体障がいの種類

問10 問9で「1. 身体障がい者手帳」を選ばれた方にお聞きします。  
あなたの身体障がいの種類は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

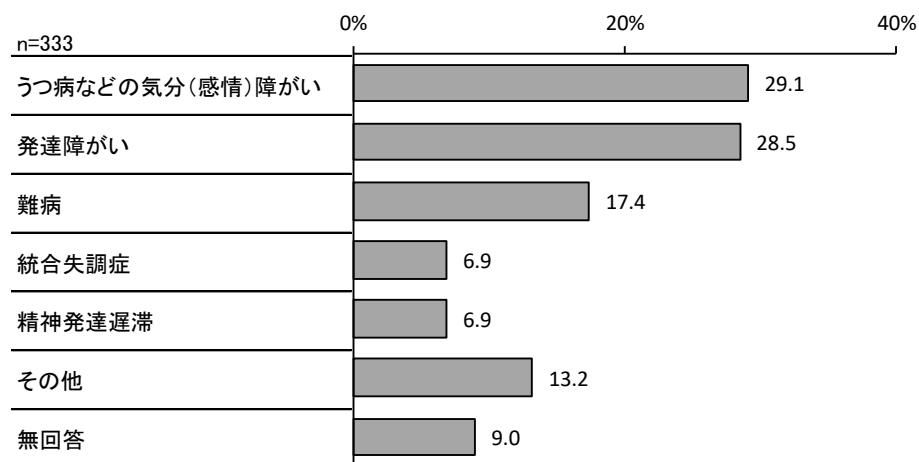
身体障がいの種類は、「肢体不自由（上肢、下肢、体幹）」が48.1%で最も高く、次いで「内部障がい（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓）」が37.6%、「聴覚、平衡機能障がい」が10.1%となっています。



## 1-11 診断されている症状

問11 問9で「2. 療育手帳」「3. 精神障がい者保健福祉手帳」「4. 障がい者手帳は持っていない」を選ばれた方にお聞きします。  
あなたが診断されている症状は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

診断されている症状は、「うつ病などの気分（感情）障がい」が29.1%で最も高く、次いで「発達障がい」が28.5%、「難病」が17.4%となっています。

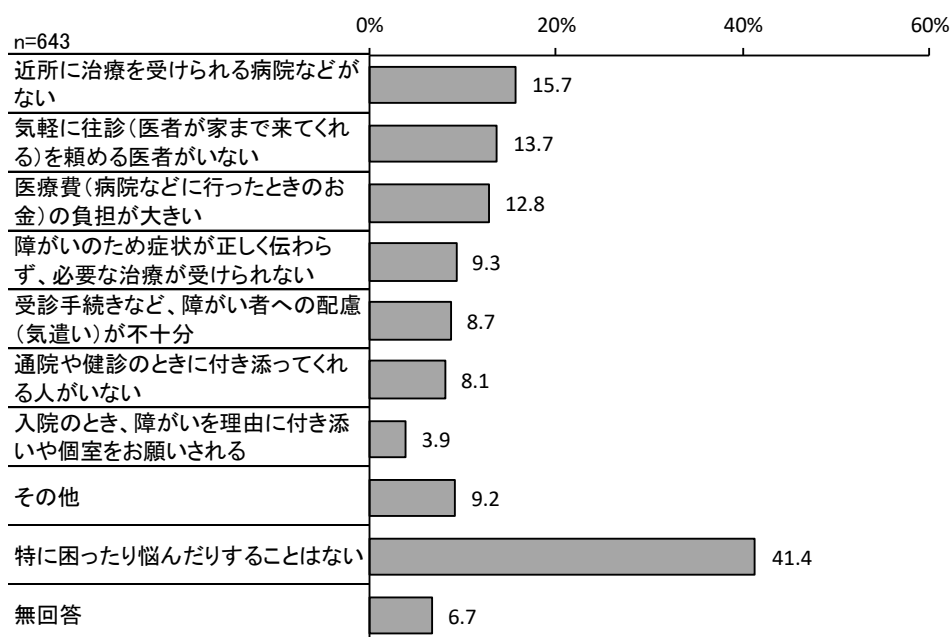


※発達障がいとは、自閉症、自閉症スペクトラム、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい（ADHD）などをいいます。

## 1-12 健康管理や医療について困っていること

問12 あなたが健康管理や医療について、困ったり悩んだりすることは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

健康管理や医療について困っていることは、「近所に治療を受けられる病院などが無い」が15.7%、「気軽に往診（医者が家まで来てくれる）を頼める医者がいない」が13.7%、「医療費（病院などに行ったときのお金）の負担が大きい」が12.8%となっています。一方、「特に困ったり悩んだりすることはない」は41.4%で最も高くなっています。



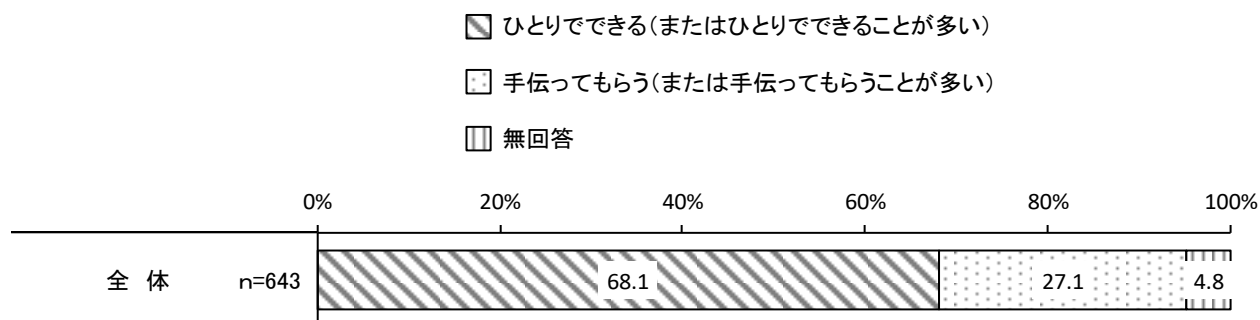


## 2 手助け（サポート）について

### 2-1 日常生活の行動

問13 あなたは日常生活の動作や行動についてひとりでできますか。それとも手伝ってもらいますか。【補装具、福祉用具をお持ちの場合は、使用した状態でお答えください。】（1つだけに○）

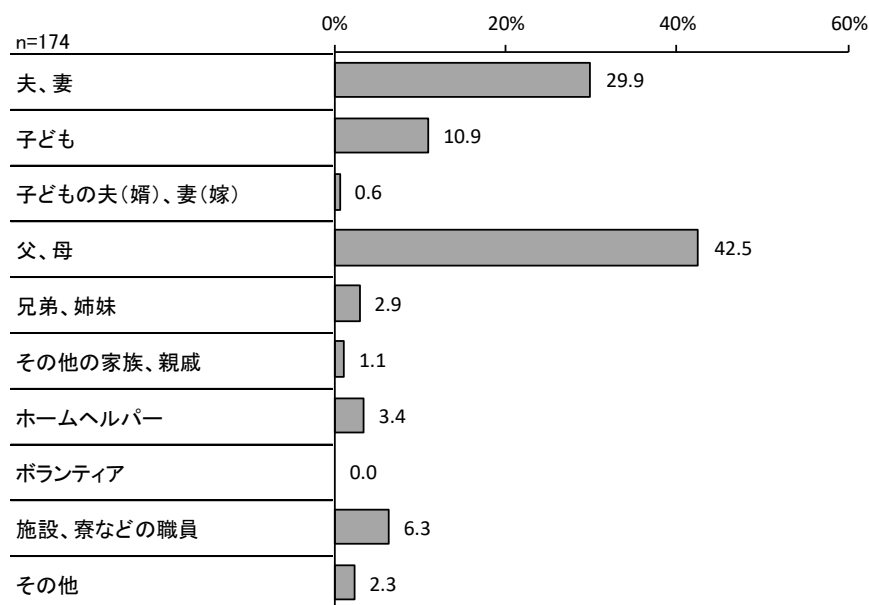
日常生活の行動は、「ひとりでできる（またはひとりでできることが多い）」が68.1%、「手伝ってもらう（または手伝ってもらうことが多い）」が27.1%となっています。



### 2-2 手助け（サポート）してくれる主な支援者

問14 問13で「2. 手伝ってもらう」を選ばれた方にお聞きします。いつもあなたの手助け（サポート）をしている方（支援者）は、主にどなたですか。（1つだけに○）

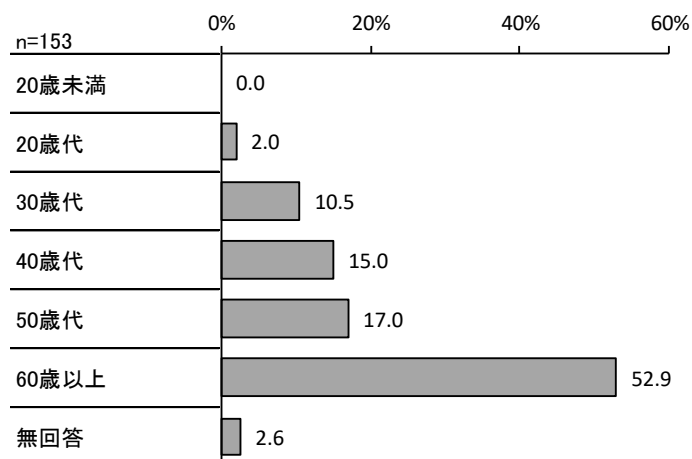
手助け（サポート）してくれる主な支援者は、「父、母」が42.5%で最も高く、次いで「夫、妻」が29.9%となっています。



### 2-3 支援者の年齢

問15 問14で「1」～「6」（ご家族）のいずれかを選ばれた方にお聞きします。  
あなたの主な支援者は何歳ですか。（1つだけに○）

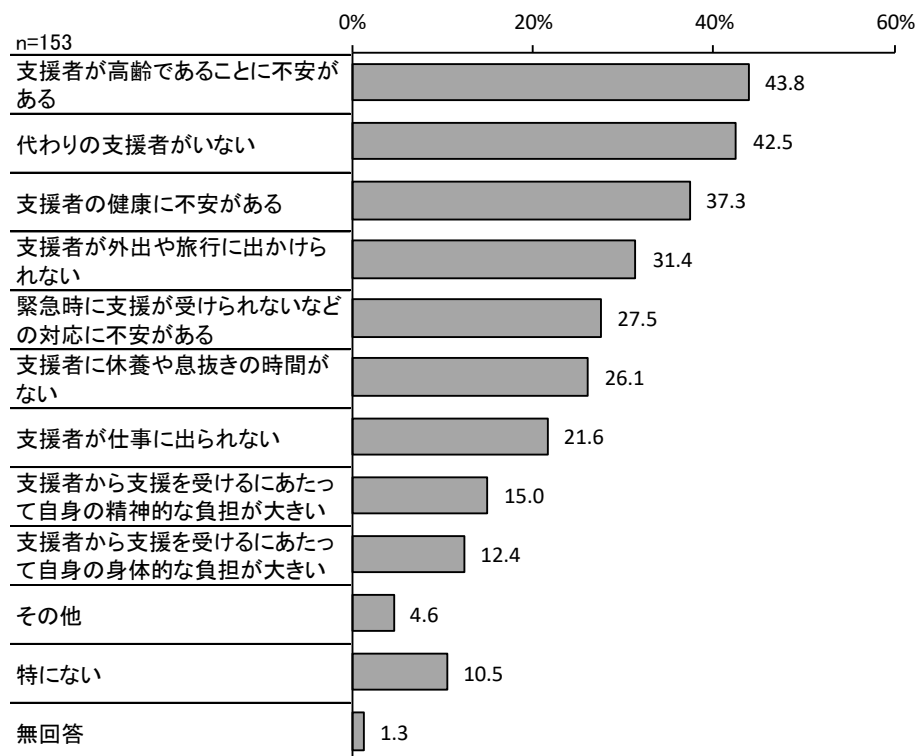
支援者の年齢は、「60歳以上」が52.9%で最も高く、次いで「50歳代」が17.0%、「40歳代」が15.0%となっています。



## 2-4 家族からの手助け（サポート）で困っていること

問16 問14で「1」～「6」（ご家族）のいずれかを選ばれた方にお聞きします。  
 家族からの手助け（サポート）について、悩んでいることや困っていることは何ですか。  
 （あてはまるものすべてに○）

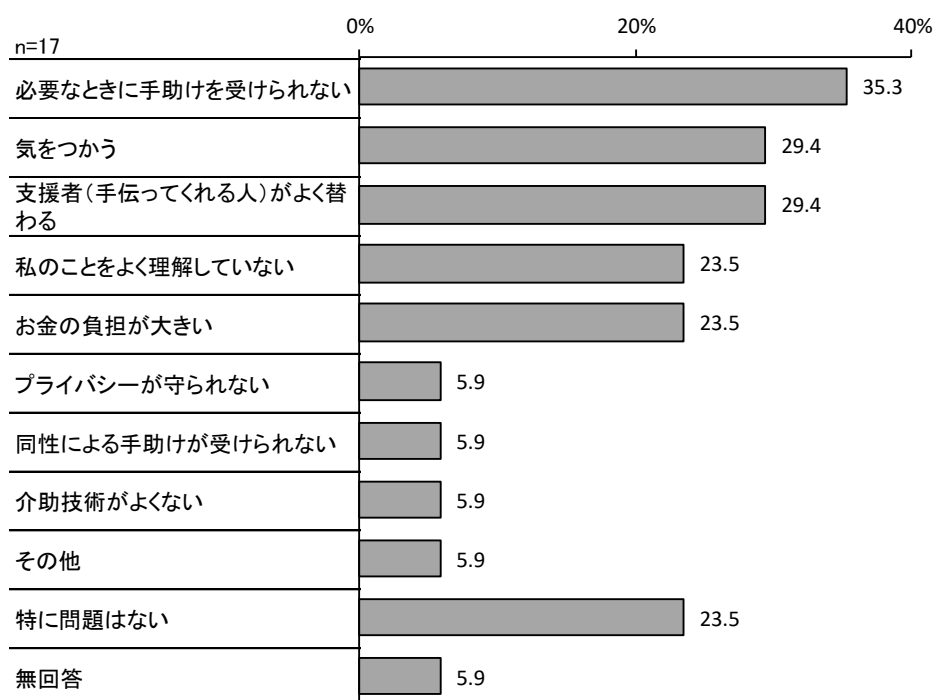
家族からの手助け（サポート）で困っていることは、「支援者が高齢であることに不安がある」が43.8%で最も高く、次いで「代替りの支援者がいない」が42.5%、「支援者の健康に不安がある」が37.3%となっています。



## 2-5 外部からの手助け（サポート）で困っていること

問17 問14で「7」～「9」のいずれかを選ばれた方にお聞きします。  
外部からの手助け（サポート）について、悩んでいることや困っていることは何ですか。  
（あてはまるものすべてに○）

外部からの手助け（サポート）で困っていることは、「必要なときに手助けを受けられない」が35.3%で最も高く、次いで「気をつかう」「支援者（手伝ってくれる人）がよく替わる」がそれぞれ29.4%、「私のことをよく理解していない」「お金の負担が大きい」がそれぞれ23.5%となっています。

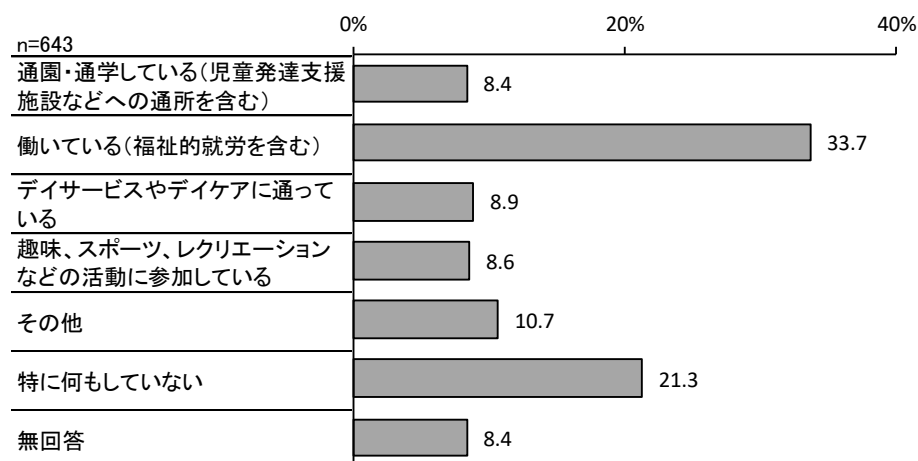


### 3 就労（働くこと）、就学（学校などのこと）について

#### 3-1 日中のおもな過ごし方

問18 あなたは、日中をおもにどのようにして過ごしていますか。（1つだけに○）

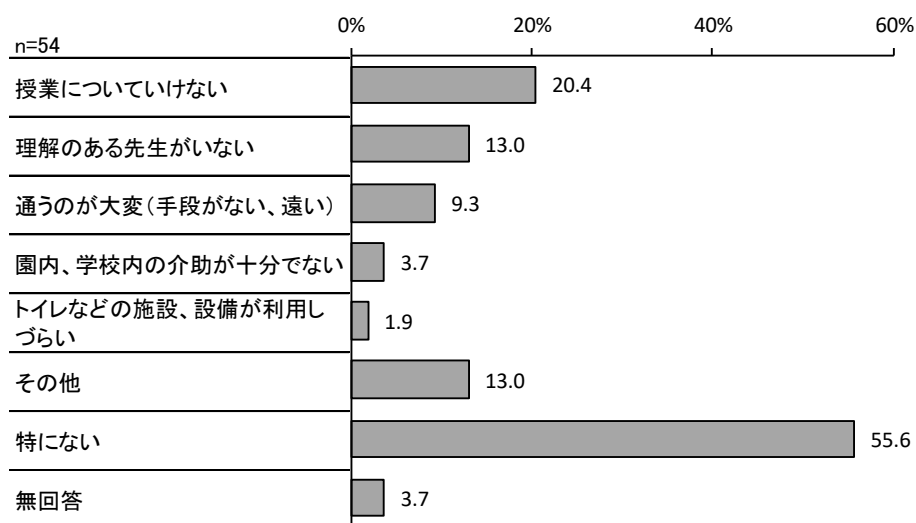
日中のおもな過ごし方は、「働いている（福祉的就労を含む）」が33.7%で最も高くなっています。一方、「特に何もしていない」は21.3%となっています。



#### 3-2 通園・通学で困っていること

問19 問18で「1 通園・通学している」を選ばれた方にお聞きします。通園・通学で困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

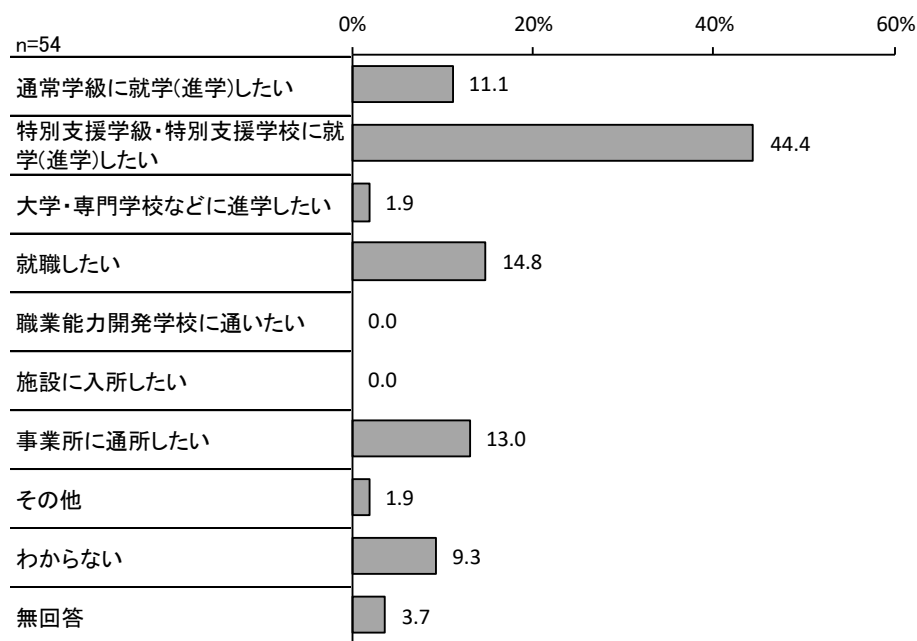
通園・通学で困っていることは、「授業についていけない」が20.4%、「理解のある先生がいない」が13.0%となっています。一方、「特にない」は55.6%で最も高くなっています。



### 3-3 卒業（園）後の進路

問20 問18で「1 通園・通学している」を選ばれた方にお聞きします。  
卒業（園）後の進路はどう考えていますか。（1つだけに○）

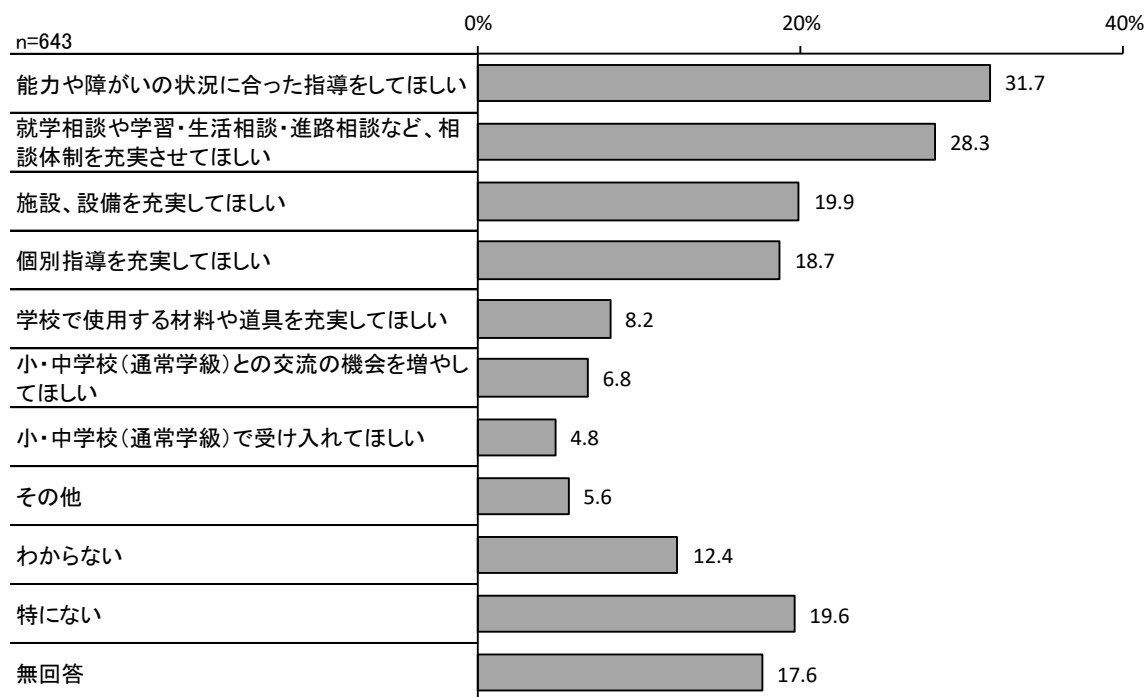
卒業（園）後の進路は、「特別支援学級・特別支援学校に就学(進学)したい」が44.4%で最も高く、次いで「就職したい」が14.8%、「事業所に通所したい」が13.0%となっています。



### 3-4 学校教育に望むこと

問21 学校教育に望むことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)  
(現在学校に通っていない方は、通っていた当時望んでいたことをお選びください。)

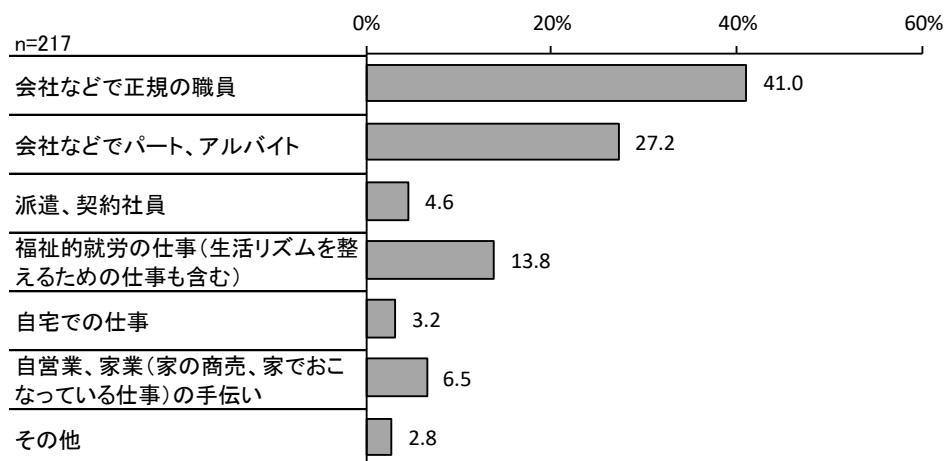
学校教育に望むことは、「能力や障がいの状況に合った指導をしてほしい」が31.7%で最も高く、次いで「就学相談や学習・生活相談・進路相談など、相談体制を充実させてほしい」が28.3%、「施設、設備を充実してほしい」が19.9%となっています。



### 3-5 就労形態

問22 問18で「2. 働いている」を選ばれた方にお聞きします。  
あなたの働き方はどのような形態ですか。（1つだけに○）

就労形態は、「会社などで正規の職員」が41.0%で最も高く、次いで「会社などでパート、アルバイト」が27.2%、「福祉的就労の仕事（生活リズムを整えるための仕事も含む）」が13.8%となっています。

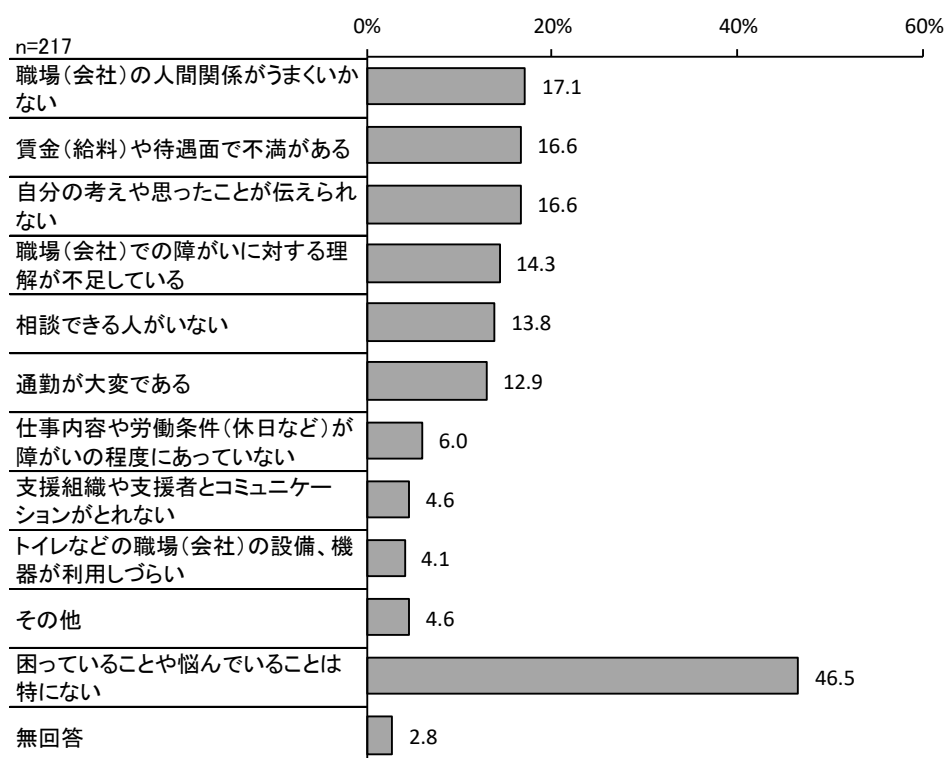




### 3-6 仕事で困っていること

問23 問18で「2. 働いている」を選ばれた方にお聞きします。  
 現在の仕事のことで困っていることや悩んでいることがありますか。  
 (あてはまるものすべてに〇)

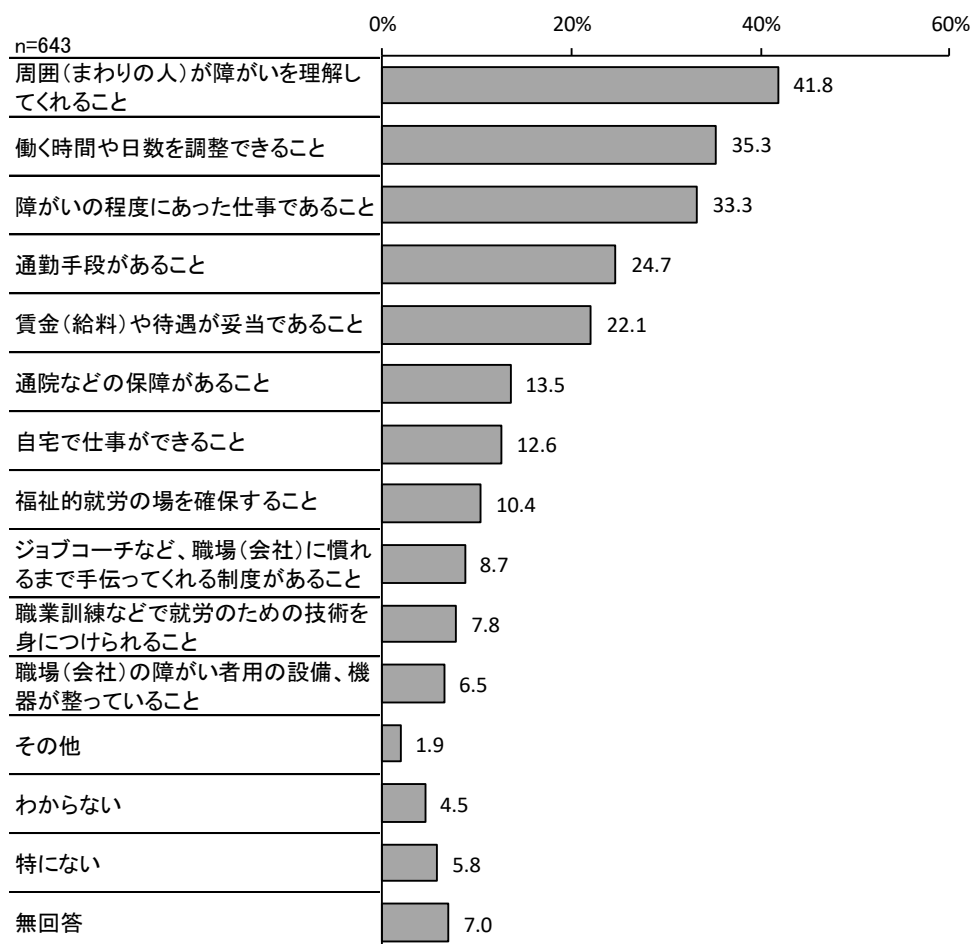
仕事で困っていることは、「職場(会社)の人間関係がうまくいかない」が17.1%、「賃金(給料)や待遇面で不満がある」「自分の考えや思ったことが伝えられない」がそれぞれ16.6%となっています。一方、「困っていることや悩んでいることは特にない」は46.5%で最も高くなっています。



### 3-7 障がいのある人が働くために大切なこと

問24 障がいのある人が働くために、何が大切だと思いますか。（〇は3つまで）

障がいのある人が働くために大切なことは、「周囲（まわりの人）が障がいを理解してくれること」が41.8%で最も高く、次いで「働く時間や日数を調整できること」が35.3%、「障がいの程度にあった仕事であること」が33.3%となっています。

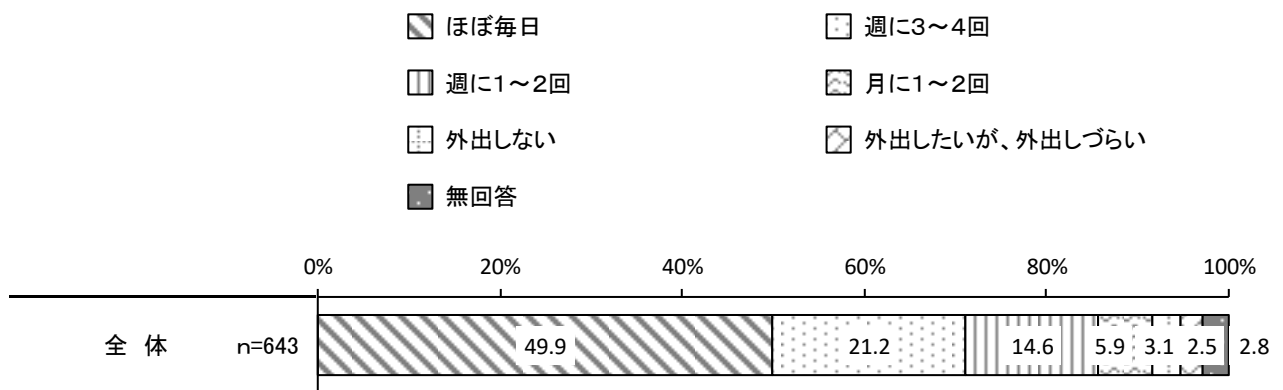


## 4 外出について

### 4-1 外出頻度

問25 あなたはいつも、どのくらい外出しますか。通勤、通園、通学、通所、通院、リハビリ、日常の散歩、買い物など、すべてを含めてお答えください。  
(1つだけに○)

外出頻度は、『外出している<sup>※1</sup>』が91.6%、『外出していない<sup>※2</sup>』が5.6%となっています。



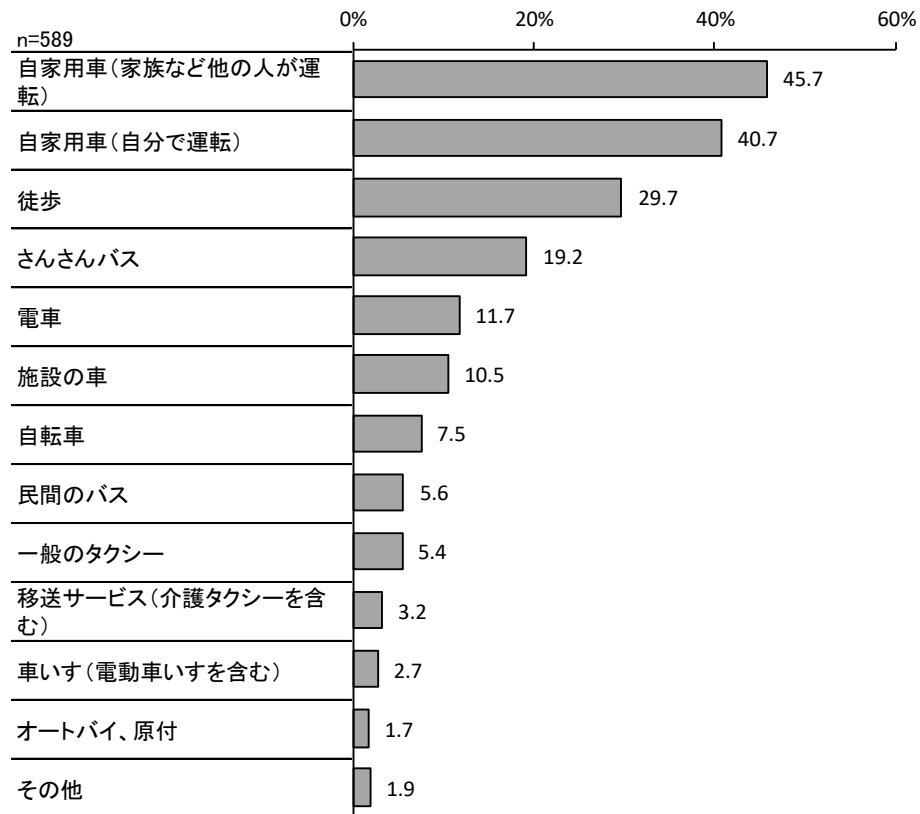
※1 「ほぼ毎日」「週に3~4回」「週に1~2回」「月に1~2回」の計

※2 「外出しない」「外出したいが、外出しづらい」の計

## 4-2 外出する際の交通手段

問26 問25で「1」～「4」のいずれかを選ばれた方にお聞きします。  
あなたが外出する場合、よく利用する交通手段は何ですか。（〇は3つまで）

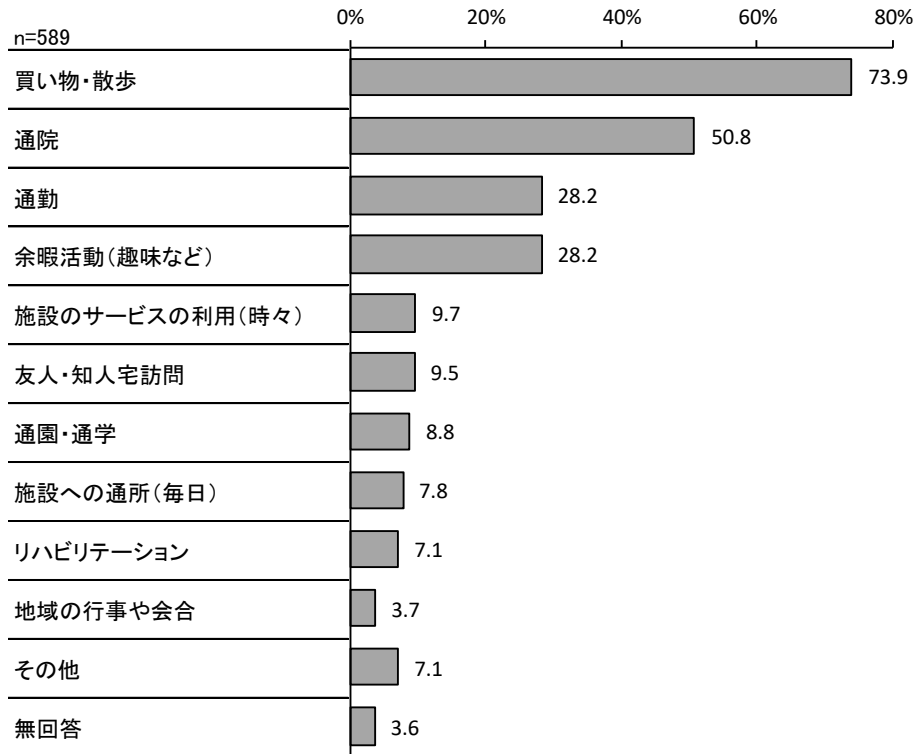
外出する際の交通手段は、「自家用車（家族など他の人が運転）」が45.7%で最も高く、次いで「自家用車（自分で運転）」が40.7%、「徒歩」が29.7%となっています。



### 4-3 外出の目的

問27 問25で「1」～「4」のいずれかを選ばれた方にお聞きします。  
あなたが外出するおもな目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

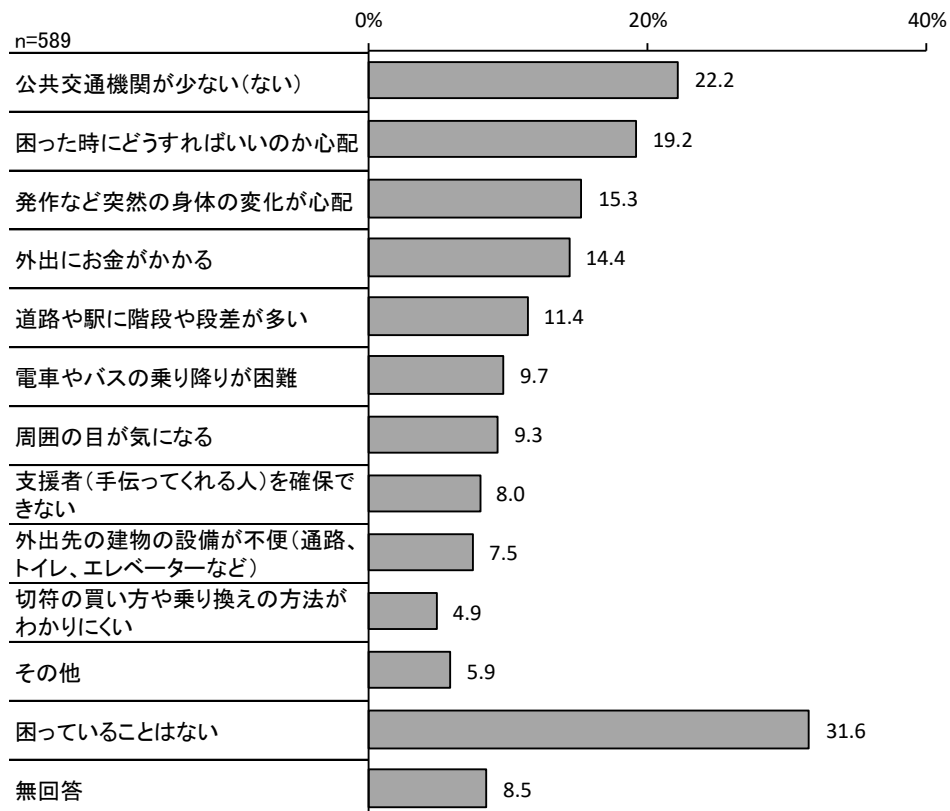
外出の目的は、「買い物・散歩」が73.9%で最も高く、次いで「通院」が50.8%、「通勤」「余暇活動（趣味など）」がそれぞれ28.2%となっています。



#### 4-4 外出時に困ること

問28 問25で「1」～「4」のいずれかを選ばれた方にお聞きします。  
 あなたが外出する時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

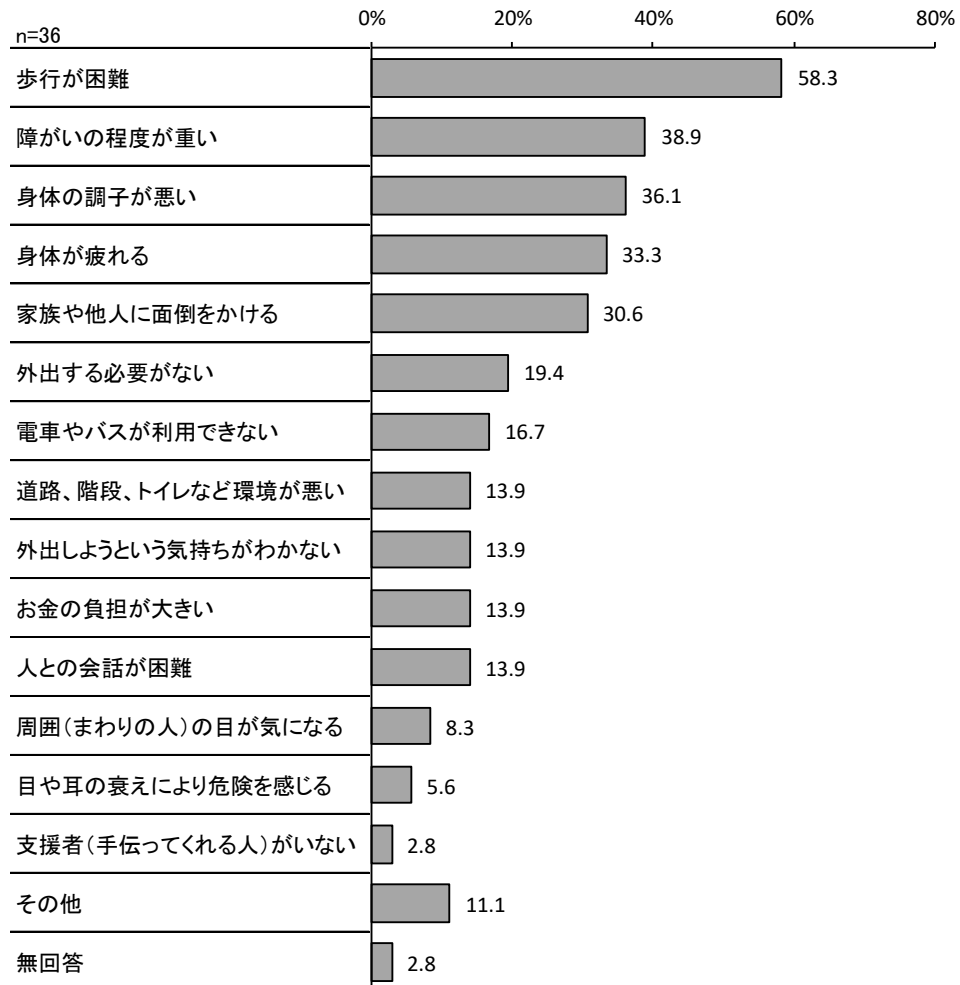
外出時に困ることは、「公共交通機関が少ない(ない)」が22.2%、「困った時にどうすればいいのか心配」が19.2%、「発作など突然の身体の変化が心配」が15.3%となっています。一方、「困っていることはない」は31.6%で最も高くなっています。



#### 4-5 外出しない、外出しづらい理由

問29 問25で「5. 外出しない」「6. 外出したいが外出しづらい」を選ばれた方にお聞きします。  
外出しない、外出しづらいのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

外出しない、外出しづらい理由は、「歩行が困難」が58.3%で最も高く、次いで「障がいの程度が重い」が38.9%、「身体の調子が悪い」が36.1%となっています。

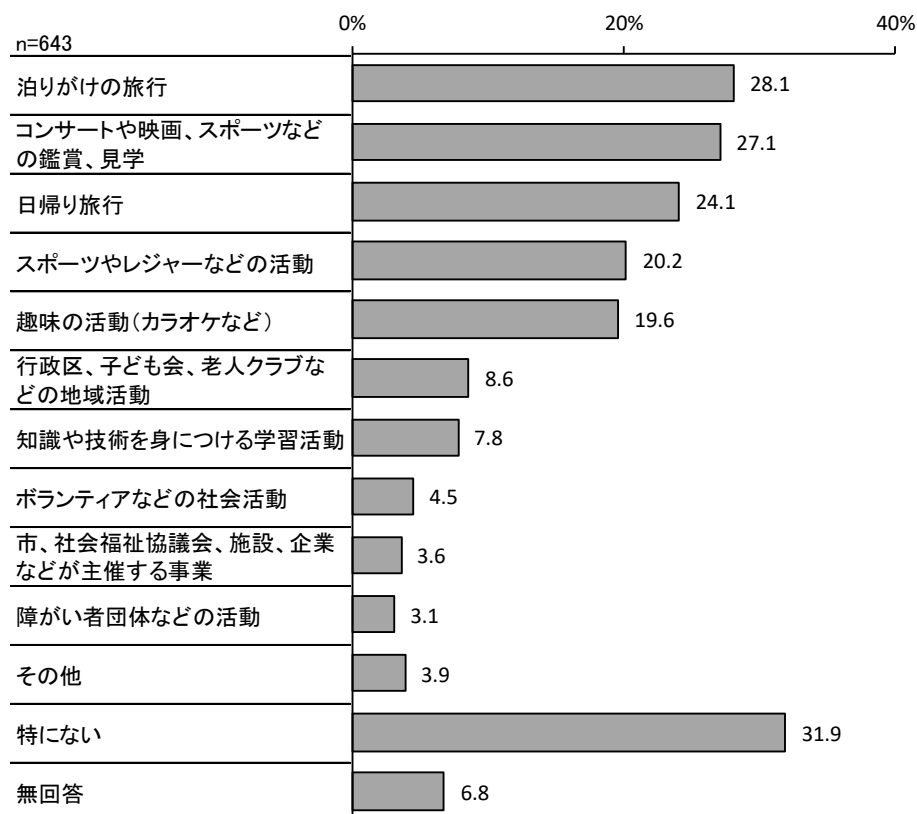


## 5 地域活動や文化、スポーツ活動について

### 5-1 1年間に参加した活動

問30 この1年間（令和4年中）に、あなたは趣味や学習、スポーツなどの活動をしましたか。（あてはまるものすべてに○）

1年間に参加した活動は、「泊りがけの旅行」が28.1%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見学」が27.1%、「日帰り旅行」が24.1%となっています。一方、「特にない」は31.9%で最も高くなっています。

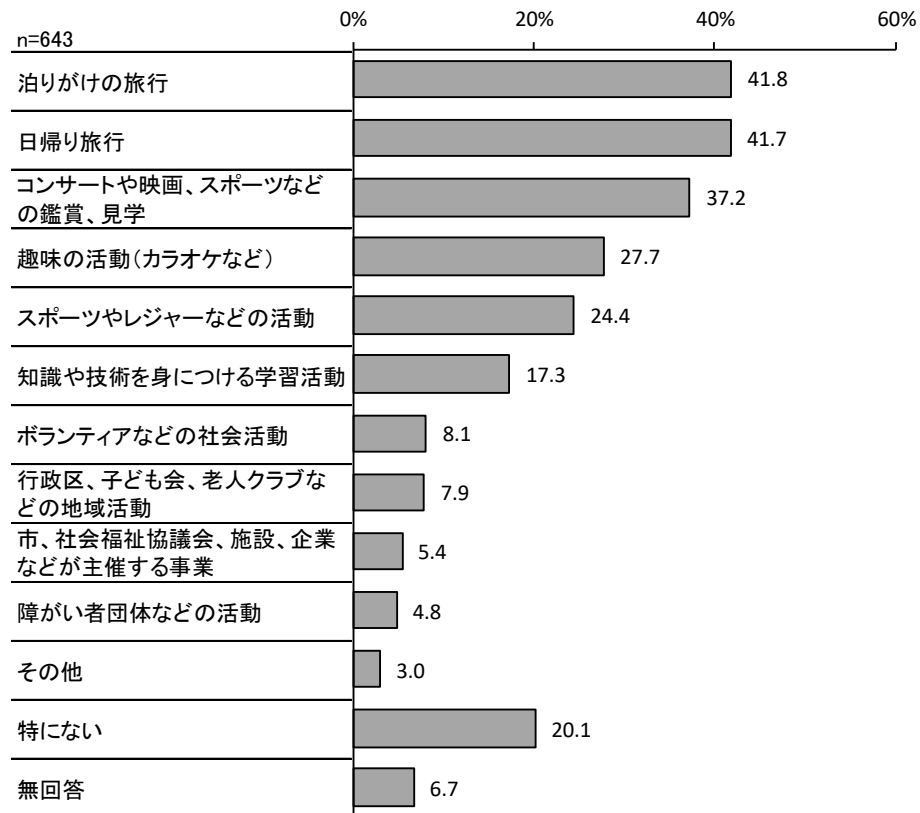




## 5-2 今後、参加したい活動

問31 現在から引き続き行う場合も含めて、今後はどのような活動をしたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

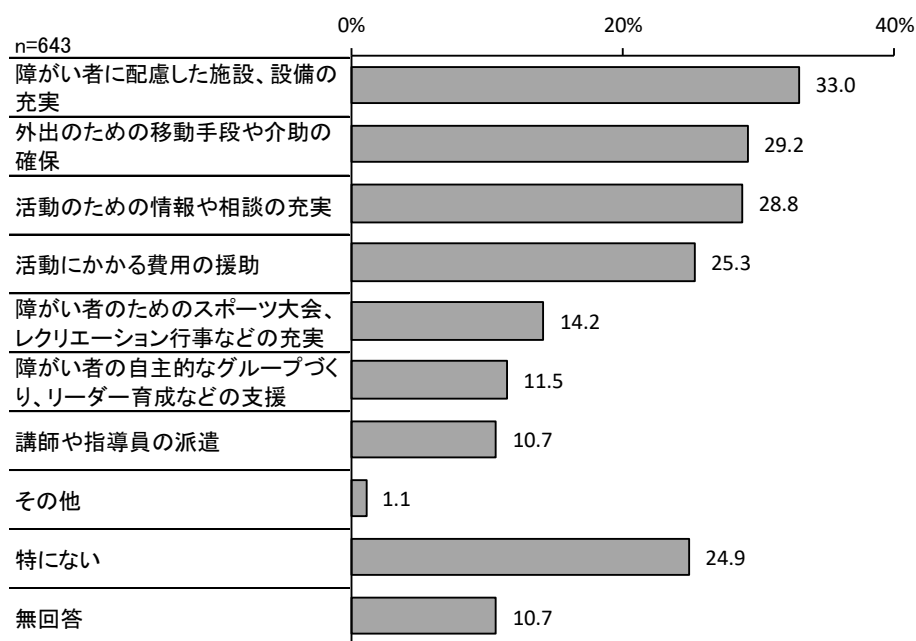
今後、参加したい活動は、「泊りがけの旅行」が41.8%で最も高く、次いで「日帰り旅行」が41.7%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見学」が37.2%となっています。



### 5-3 障がいのある人が活動に参加するために必要な支援

問32 障がいのある人が文化・スポーツ活動をするために、どのようなことを支援してほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

障がいのある人が活動に参加するために必要な支援は、「障がい者に配慮した施設、設備の充実」が33.0%で最も高く、次いで「外出のための移動手段や介助の確保」が29.2%、「活動のための情報や相談の充実」が28.8%となっています。

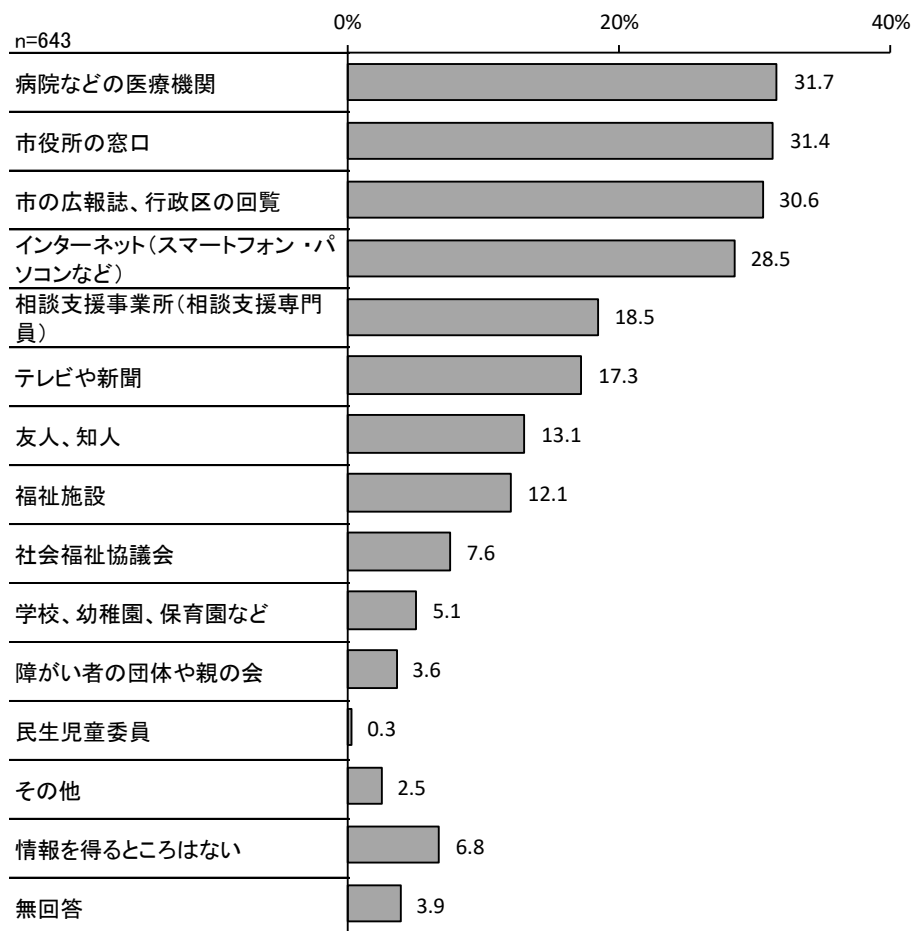


## 6 情報・相談・連絡について

### 6-1 生活や福祉サービスの情報源

問33 あなたやご家族の方は、生活や福祉サービスの情報をどこで（どこから）得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

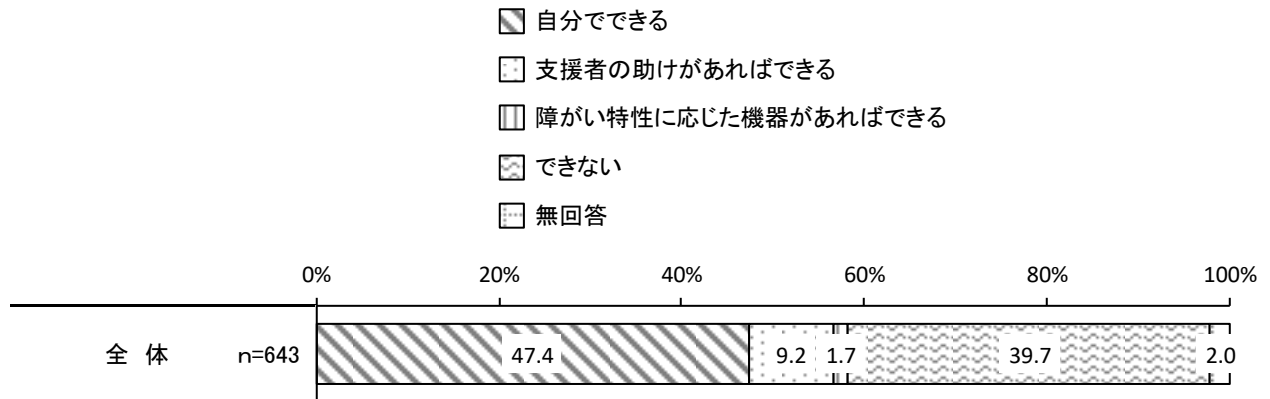
生活や福祉サービスの情報源は、「病院などの医療機関」が31.7%で最も高く、次いで「市役所の窓口」が31.4%、「市の広報誌、行政区の回覧」が30.6%となっています。



## 6-2 インターネット上（SNS含む）からの情報取得

問34 あなたは、スマートフォン・パソコンなどを使ってインターネット上（SNS含む）から情報を得ることができますか。（1つだけに○）

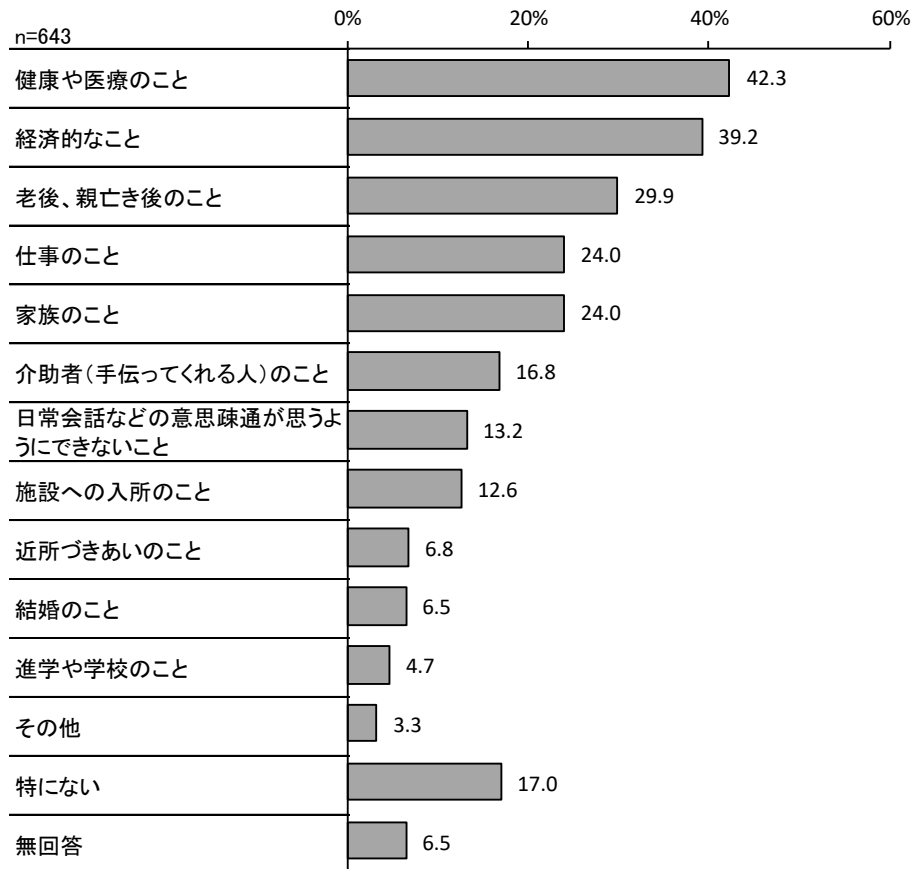
インターネット上（SNS含む）からの情報取得は、「自分でできる」が47.4%、「支援者の助けがあればできる」が9.2%、「障がい特性に応じた機器があればできる」が1.7%で、これらをあわせた『できる』は58.3%となっています。一方、「できない」は39.7%となっています。



### 6-3 障がいや生活のことで困っていること

問35 あなたは障がいや生活のことで困ったり不安に思っていたりすることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

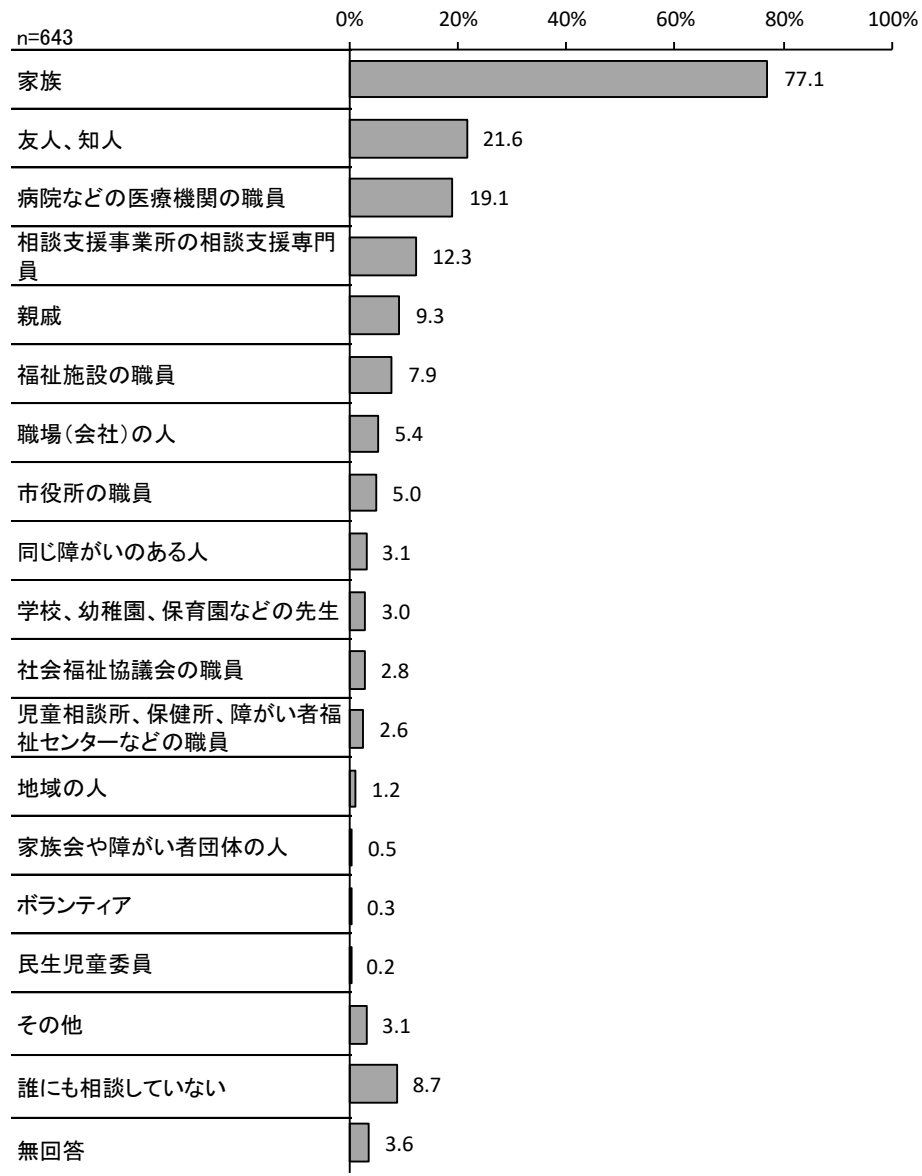
障がいや生活のことで困っていることは、「健康や医療のこと」が42.3%で最も高く、次いで「経済的なこと」が39.2%、「老後、親亡き後のこと」は29.9%となっています。



#### 6-4 心配なことがあった時の相談相手

問36 あなたは心配なことがあったとき、だれに相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

心配なことがあった時の相談相手は、「家族」が77.1%で最も高く、次いで「友人、知人」が21.6%、「病院などの医療機関の職員」が19.1%となっています。

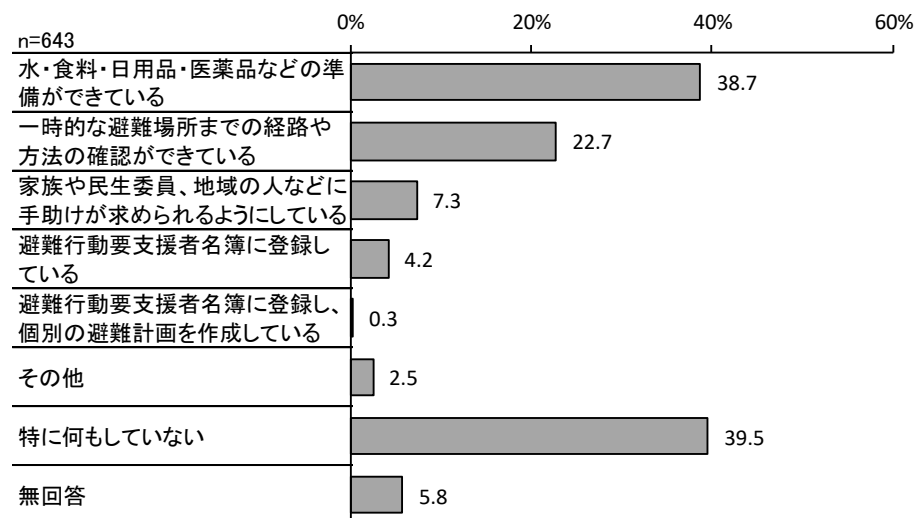


## 7 災害・避難などについて

### 7-1 災害時に備えた準備

問37 あなたは、災害時に備え、日ごろからどのような準備をしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

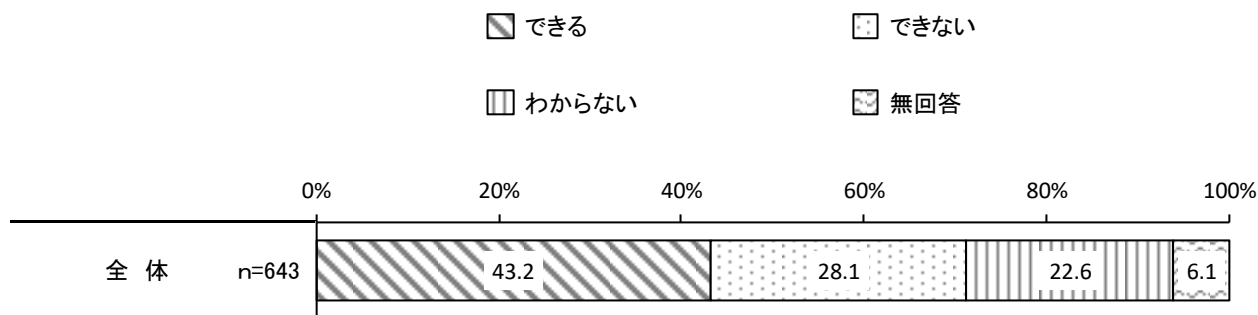
災害時に備えた準備は、「水・食料・日用品・医薬品などの準備ができている」が38.7%、「一時的な避難場所までの経路や方法の確認ができている」が22.7%となっています。一方、「特に何もしていない」は39.5%で最も高くなっています。



## 7-2 災害などの緊急時にひとりで避難すること

問38 あなたは、災害などの緊急時に、ひとりで避難することができますか。  
(○は1つ)

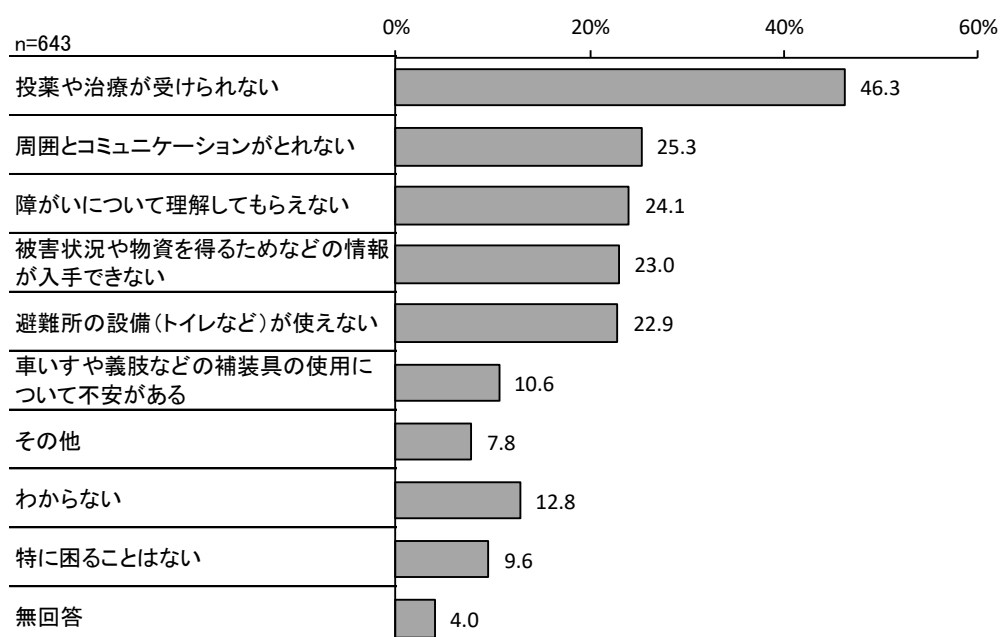
災害などの緊急時にひとりで避難することは、「できる」が43.2%、「できない」が28.1%となっています。また、「わからない」は22.6%となっています。



## 7-3 避難所生活で困ること

問39 避難所で生活することになった場合、困ると思うことは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

避難所生活で困ることは、「投薬や治療が受けられない」が46.3%で最も高く、次いで「周囲とコミュニケーションがとれない」が25.3%、「障がいについて理解してもらえない」が24.1%となっています。

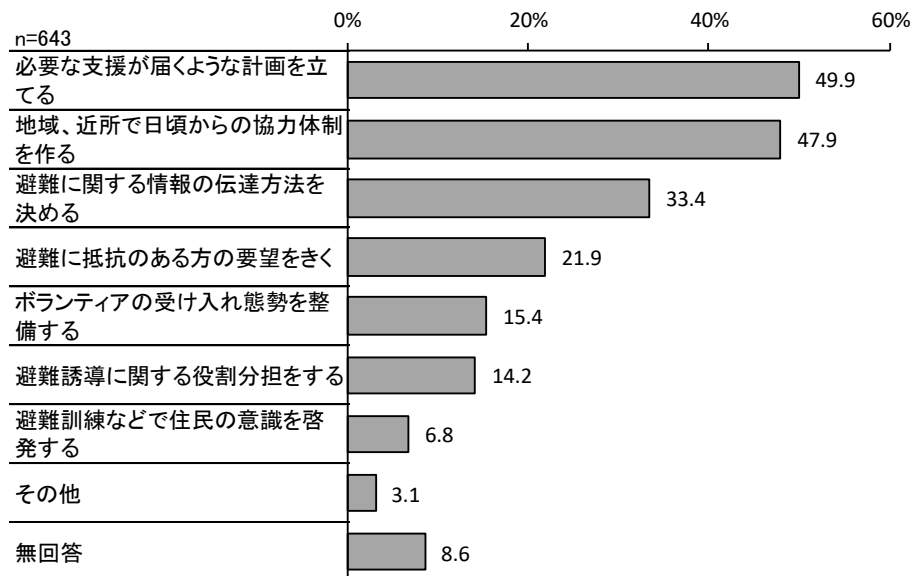




#### 7-4 災害時や緊急時に障がいのある人に必要な支援

問40 災害時や緊急時において、障がいのある人に対する必要な取り組みは何だと思いますか。（〇は3つまで）

災害時や緊急時に障がいのある人に必要な支援は、「必要な支援が届くような計画を立てる」が49.9%で最も高く、次いで「地域、近所で日頃からの協力体制を作る」が47.9%、「避難に関する情報の伝達方法を定める」が33.4%となっています。

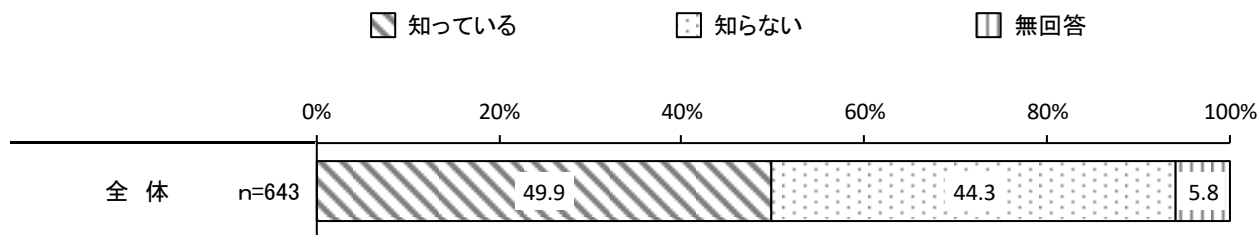


## 8 権利擁護について

### 8-1 成年後見制度の認知度

問41 あなたは成年後見制度を知っていますか。（1つだけに○）

成年後見制度の認知度は、「知っている」が49.9%、「知らない」が44.3%となっています。

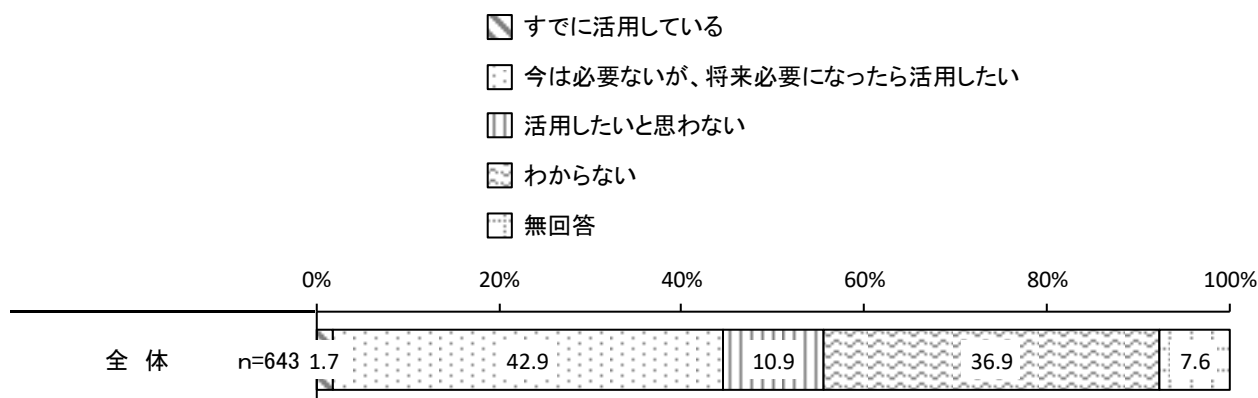


※成年後見制度とは、認知症や知的障がい・精神障がいなどにより、ひとりで決めることに不安や心配のある人を、成年後見人がいろいろな契約や手続きの手伝いをする制度です。

### 8-2 成年後見制度の活用

問42 成年後見制度を活用したいと思いますか（1つだけに○）

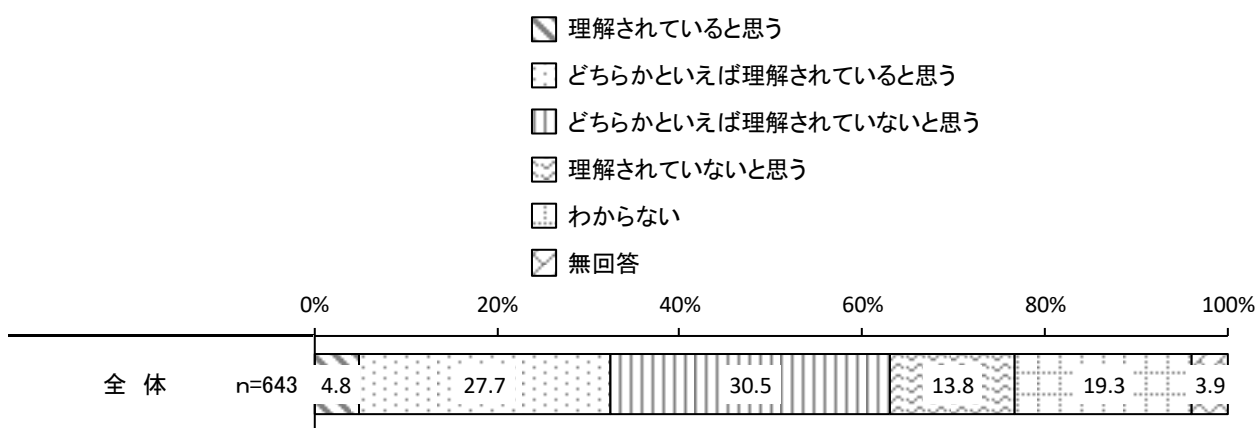
成年後見制度の活用は、「すでに活用している」が1.7%、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」が42.9%で、これらをあわせた『活用したい』が44.6%となっています。一方、「活用したいと思わない」は10.9%となっています。また、「わからない」が36.9%となっています。



### 8-3 障がいのある人に対する社会の理解

問43 あなたは日常生活の中で、障がいのある人に対する社会の理解についてどう感じますか。（1つだけに○）

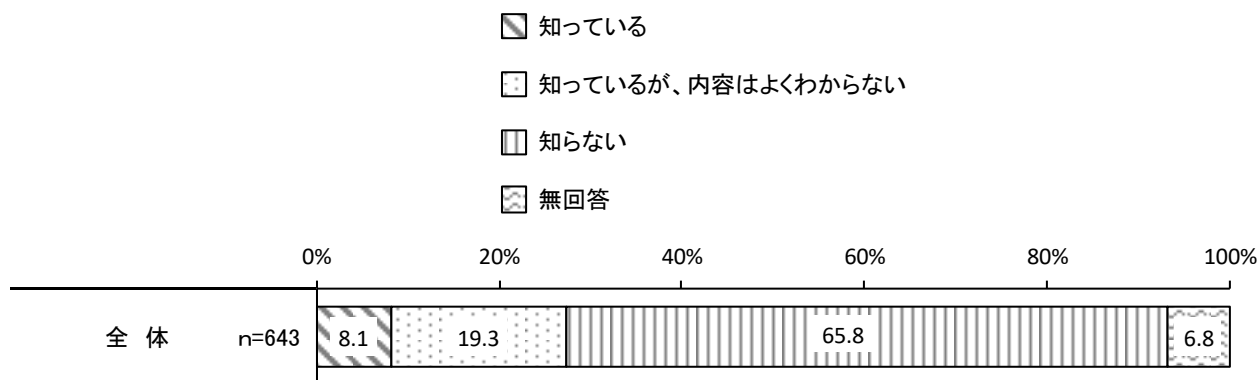
障がいのある人に対する社会の理解は、「理解されていると思う」が4.8%、「どちらかといえば理解されていると思う」が27.7%で、これらをあわせた『理解されていると思う』は32.5%となっています。一方、「どちらかといえば理解されていないと思う」が30.5%、「理解されていないと思う」が13.8%で、これらをあわせた『理解されていないと思う』は44.3%となっています。また、「わからない」は19.3%となっています。



### 8-4 合理的配慮の認知度

問44 障がいのある人に対する「合理的配慮」について、知っていますか。（1つだけに○）

合理的配慮の認知度は、「知っている」が8.1%、「知っているが、内容はよくわからない」が19.3%で、これらをあわせた認知度は27.4%となっています。一方、「知らない」は65.8%となっています。

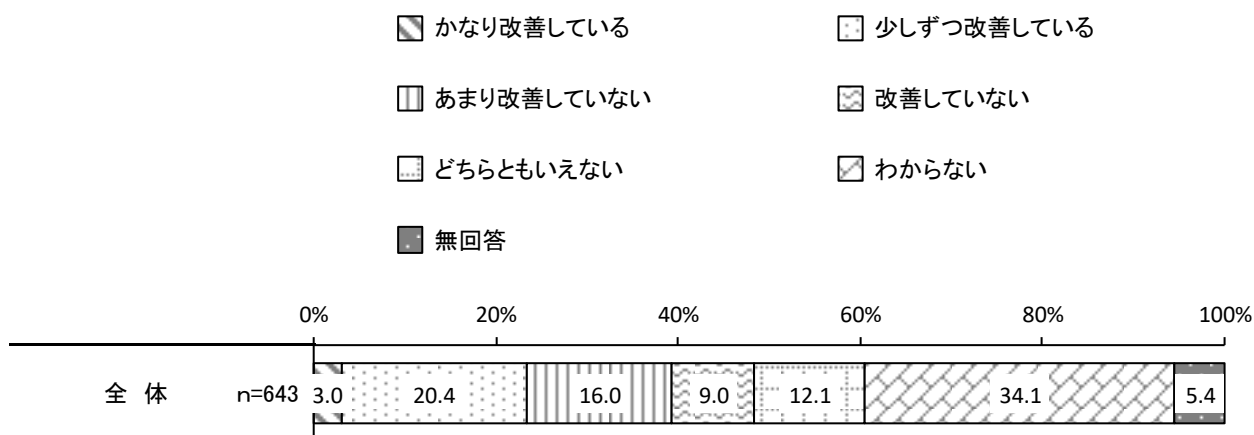


※合理的配慮は、障害のある人から、社会の中にある障壁を取り除くために何らかの対応を必要とするとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することが求められるものです。

## 8-5 障がいのある人に対する差別や偏見の改善

問45 あなたは、障害者差別解消法が施行された頃（約5年前）と比較して、障がいのある人に対する差別や偏見は改善していると思いますか。（1つだけに○）

障がいのある人に対する差別や偏見の改善は、「かなり改善している」が3.0%、「少しずつ改善している」が20.4%で、これらをあわせた『改善している』は23.4%となっています。一方、「あまり改善していない」が16.0%、「改善していない」が9.0%で、これらをあわせた『改善していない』は25.0%となっています。また、「どちらともいえない」が12.1%、「わからない」が34.1%となっています。



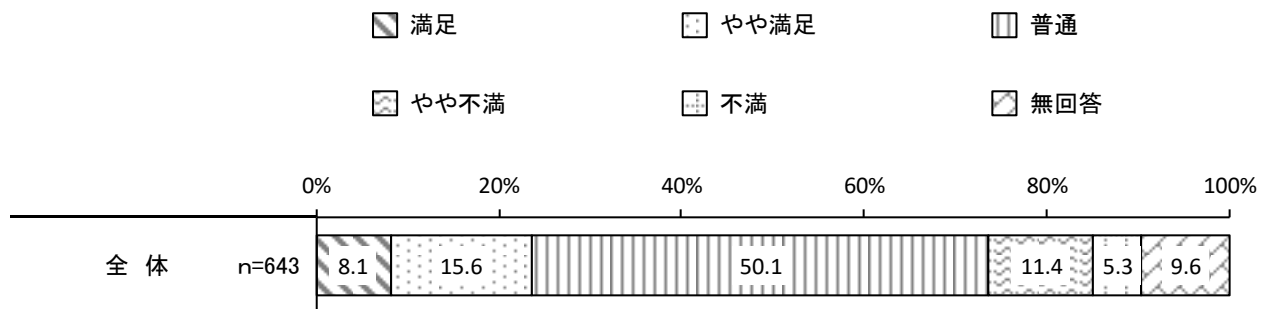
※障害者差別解消法は、障がいのある人への差別をなくすことで、障がいのある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指しています。障害者差別解消法では、「不当な差別的取扱い」と「合理的配慮をしないこと」が、差別になります。

## 9 障がい福祉の向上について

### 9-1 みよし市障がい福祉施策の満足度

問46 あなたは、みよし市の障がい福祉施策についてどう感じていますか。  
(1つだけに○)

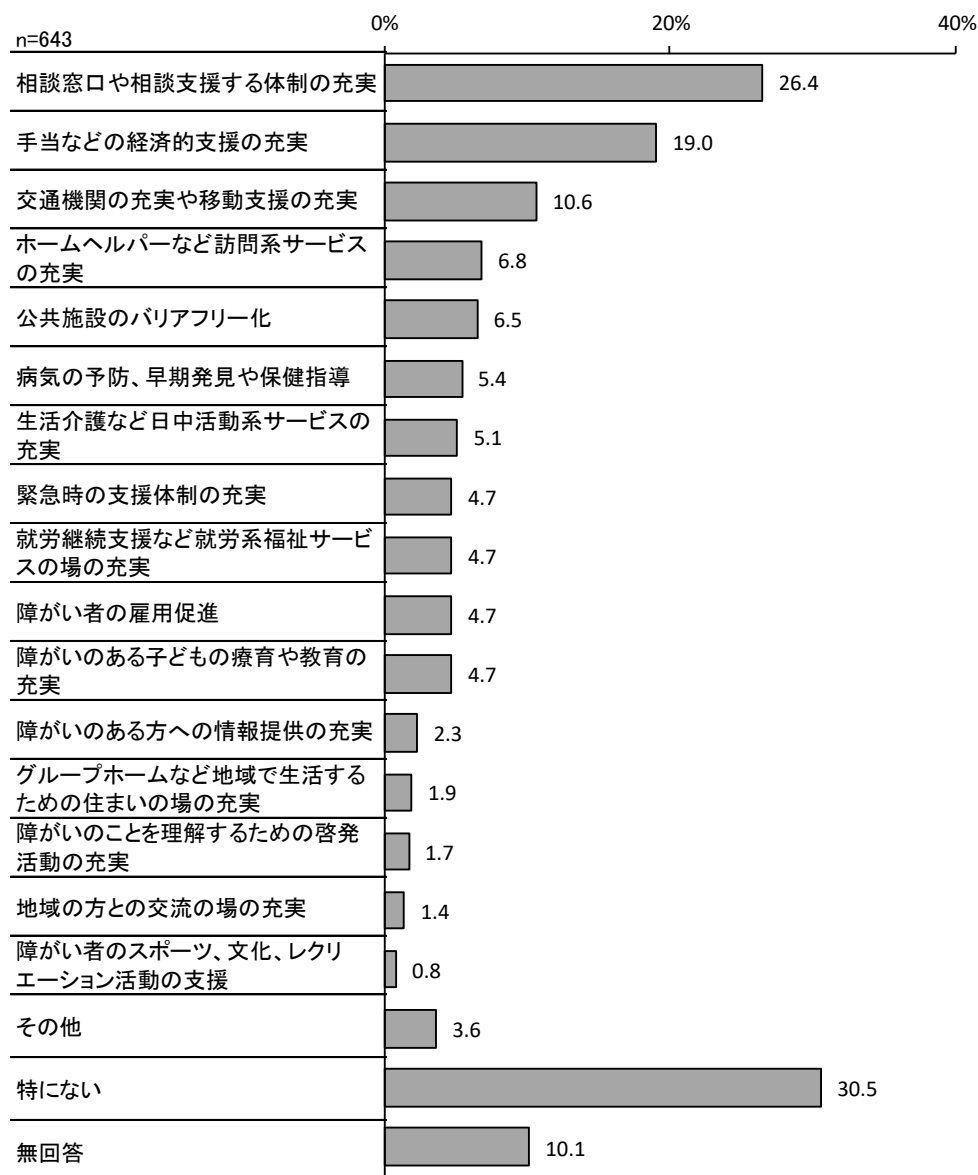
みよし市障がい福祉施策の満足度は、「満足」が8.1%、「やや満足」が15.6%で、これらをあわせた『満足』は23.7%となっています。一方、「やや不満」が11.4%、「不満」が5.3%で、これらをあわせた『不満』は16.7%となっています。また、「普通」が50.1%となっています。



## 9-2 みよし市福祉施策で充実していると思う施策

問47 現在、みよし市の福祉施策で充実していると思うことは何ですか。  
(〇は3つまで)

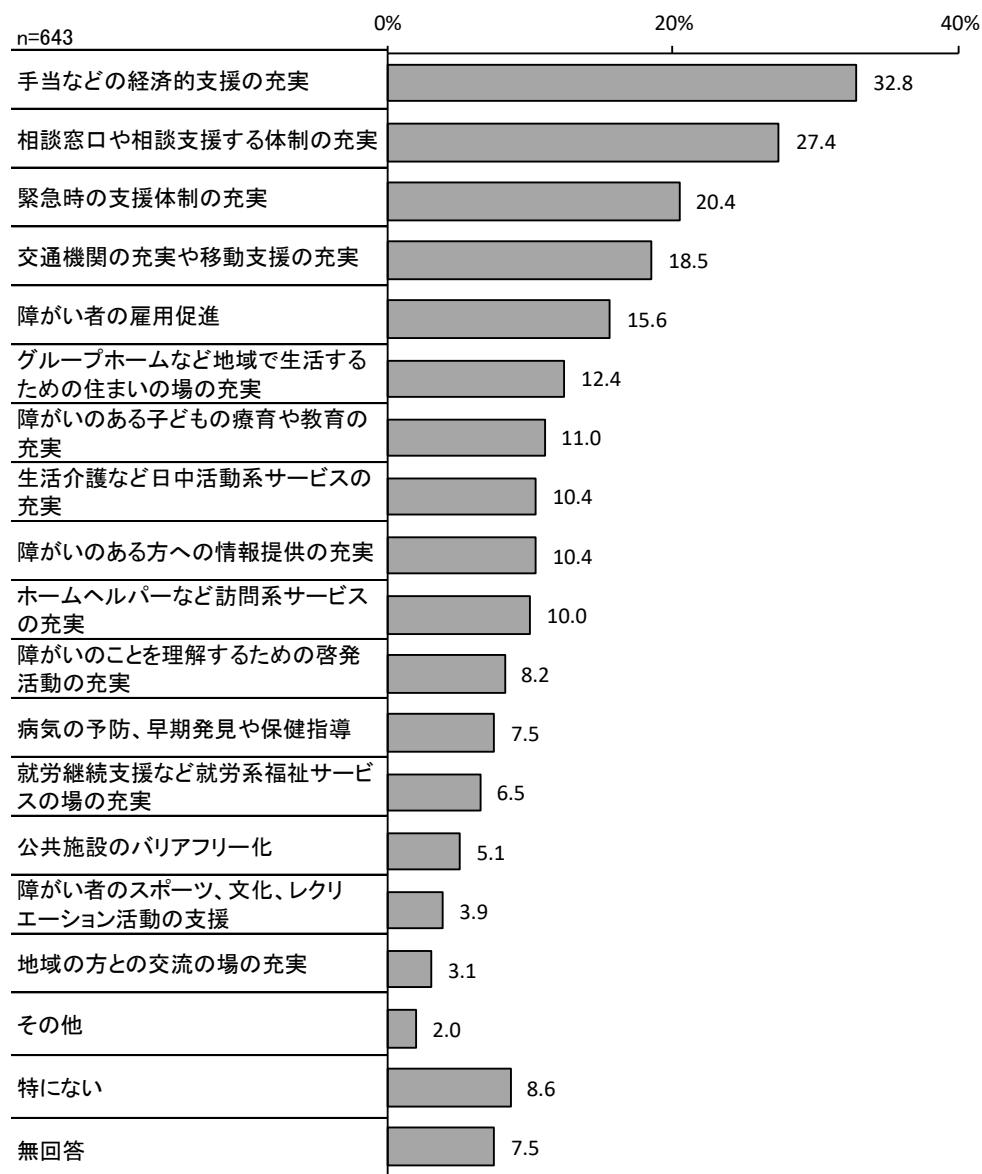
みよし市福祉施策で充実していると思う施策は、「相談窓口や相談支援する体制の充実」が26.4%、「手当などの経済的支援の充実」が19.0%、「交通機関の充実や移動支援の充実」が10.6%となっています。一方、「特にない」は30.5%で最も高くなっています。



### 9-3 みよし市障がい者福祉施策で充実してほしい施策

問48 今後、みよし市の障がい者福祉について、行政や地域、学校、企業などで充実してほしいことは何ですか。（〇は3つまで）

みよし市障がい者福祉施策で充実してほしい施策は、「手当などの経済的支援の充実」が32.8%で最も高く、次いで「相談窓口や相談支援する体制の充実」が27.4%、「緊急時の支援体制の充実」が20.4%となっています。



9-4 みよし市障がい者福祉施策についてのご意見

カテゴリー	件数
各種サービスの充実について（支援の充実、書類手続きの簡素化やオンライン化等）	23
情報提供・相談・啓発について（情報がほしい、相談場所が必要等）	16
福祉施設について（施設の増設、サービスの利用時間を長くする等）	13
就業・雇用について（企業の障がい者受け入れ体制の構築、体調に合った働き方等）	10
行政に対する励ましや感謝について	10
公共交通機関について（タクシーやコミュニティバスの増便等）	9
生活環境について（道路の舗装や防災対策等）	9
現在の生活状況について（生活状況や将来の展望等）	9
障がい者手帳所持者への手当や所得制限について等	8
療育・教育について（学校教育や学校側の障がいに対する知識不足等）	6
行政に対する不満について（職員の対応等）	6
アンケートについて（個人の特定への不安や障がい者という表現に不信感等）	5
在宅福祉について（ショートステイの充実や移動支援等）	4
交流の機会について（イベント開催で障がいへの理解を深める等）	4
医療について（医療機関の不足や治療の支援等）	2
地域での助け合いについて（民生委員の活用や日常生活での手助けが必要等）	2
専門職員の育成について	1
親亡き後の生活について	1



